環境に関する意識アンケート調査結果（概要）

【1】調査目的

アンケート調査は、柳井市が目指す環境にやさしいまちづくりを推進するための基礎資料として、市民や事業者の自然環境の保全や地球温暖化対策などの取組状況、今後の取組意欲を把握することを目的に実施した。

【2】調査概要

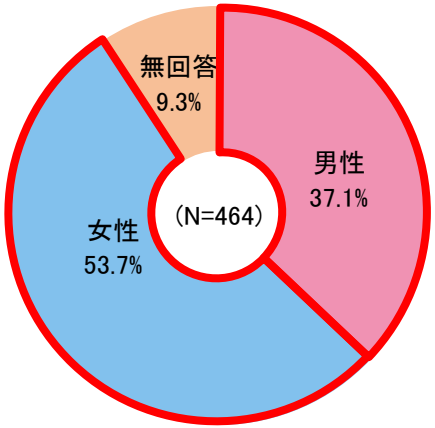
アンケート調査の調査概要は、下表に示すとおりである。

項目	市民	事業者
調査対象	市内に在住している方の中から1,000人を無作為に抽出	市内の主要事業所から214事業所を抽出
調査方法	郵送により調査票を配布し、郵送・webにて調査票を回収	
調査期間	2025（令和7）年10月23日（木）～2025（令和7）年12月31日（水）	
回収率	発送数：1,000票 未着数：8票 回収数：464票 （郵送：277票、web：187票） 回収率：46.8%	発送数：214票 未着数：0票 回収数：130票 （郵送：56票、web：74票） 回収率：60.7%

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

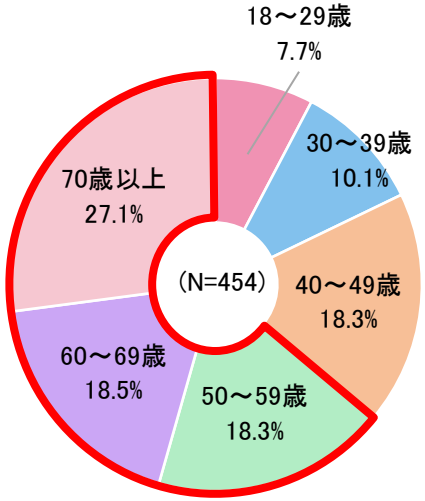
【問1】あなたのことについてお聞かせください。

性別



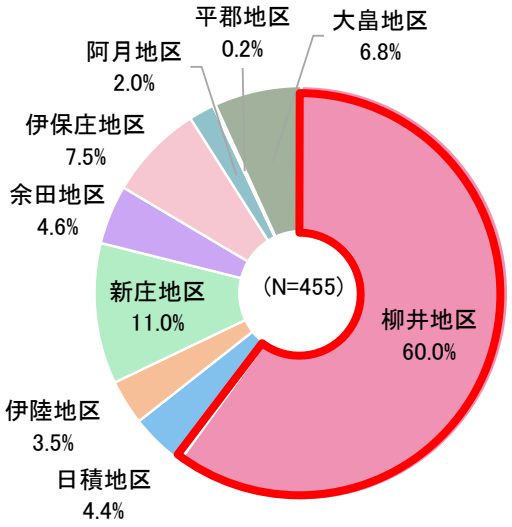
- 回答者の性別は、女性が約5割、男性が約4割である。

年齢



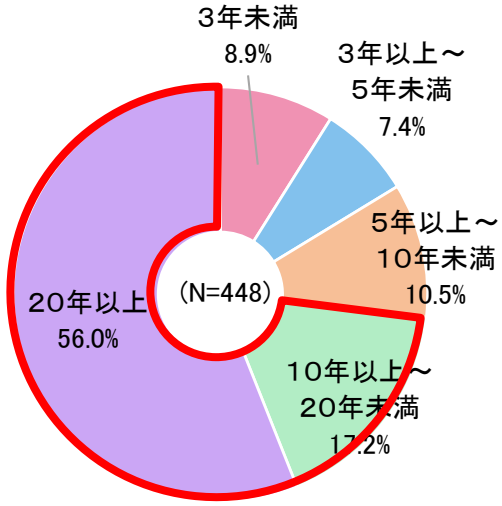
- 回答者の年齢は、50歳以上で6割以上を占めている。

住所



- 回答者の居住地区は、柳井地区が60.0%と最も多い。

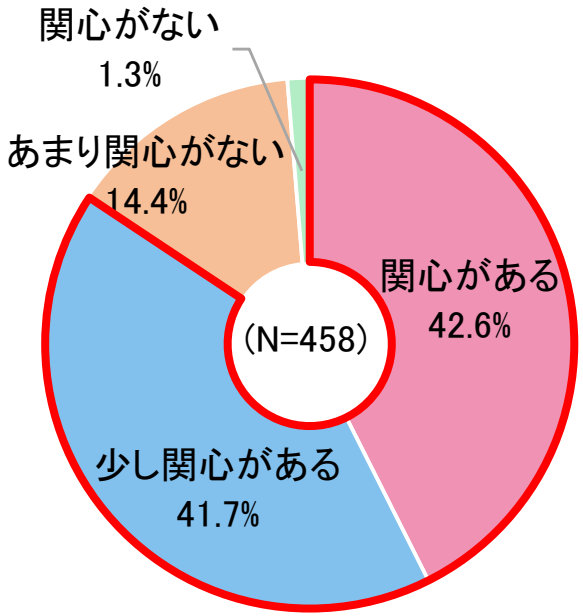
居住年数



- 回答者の住居年数は、10年以上で7割以上を占めている。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問2】環境問題に関心がありますか。

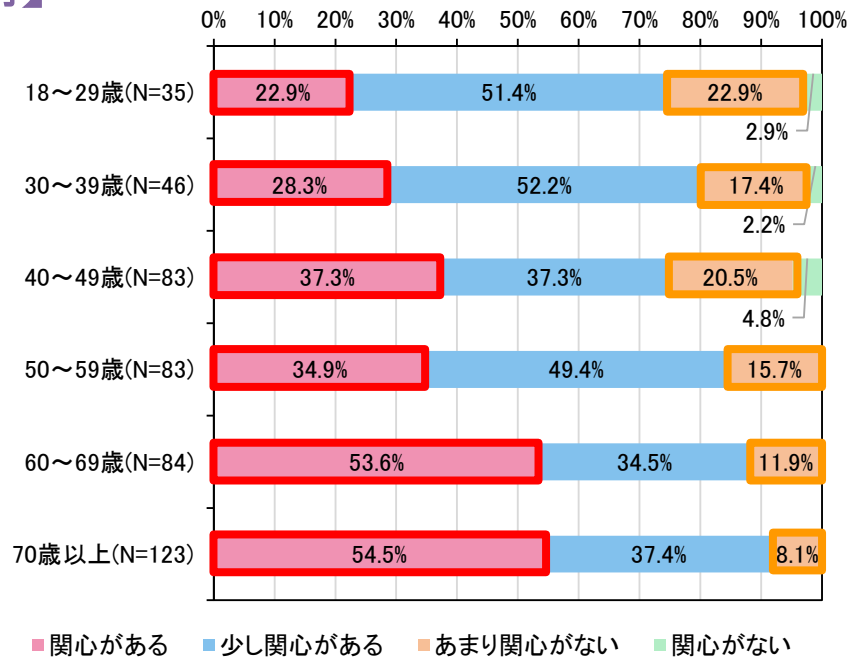


- 環境問題に「関心がある」または「少し関心がある」と回答した方の割合が8割以上を占めており、環境問題に対する関心は高いと考えられる。
- 一方、「関心がない」と回答した方の割合は1.3%である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問2】環境問題に関心がありますか。

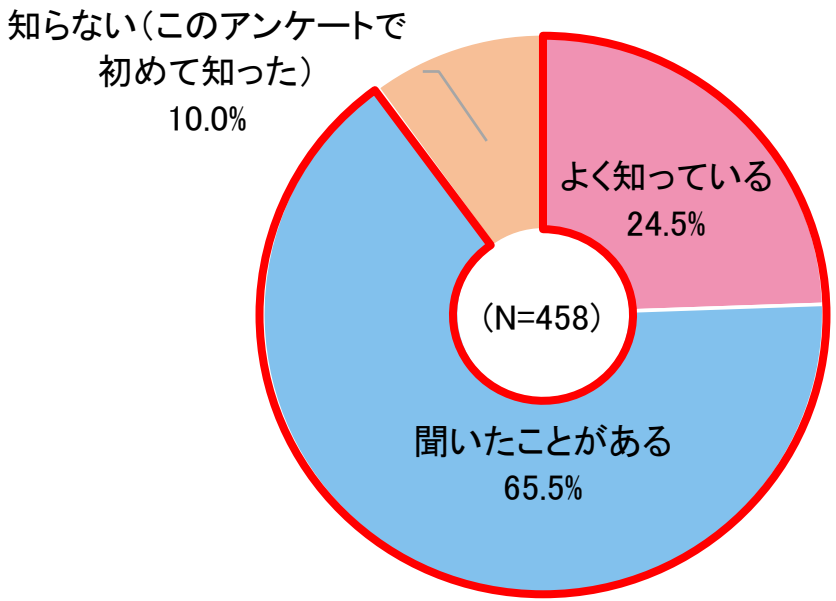
【参考：年代別の傾向】



- 回答者の年代が高くなるにつれ「関心がある」と回答した方の割合が高くなる傾向があり、60歳以上の方の5割以上が「関心がある」と回答した。
- 一方、回答者の年代が低くなるにつれ、「あまり関心がない」または「関心がない」と回答した方の割合が高くなる傾向が見られる。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問3】『カーボンニュートラル』という言葉をご存知でしたか。

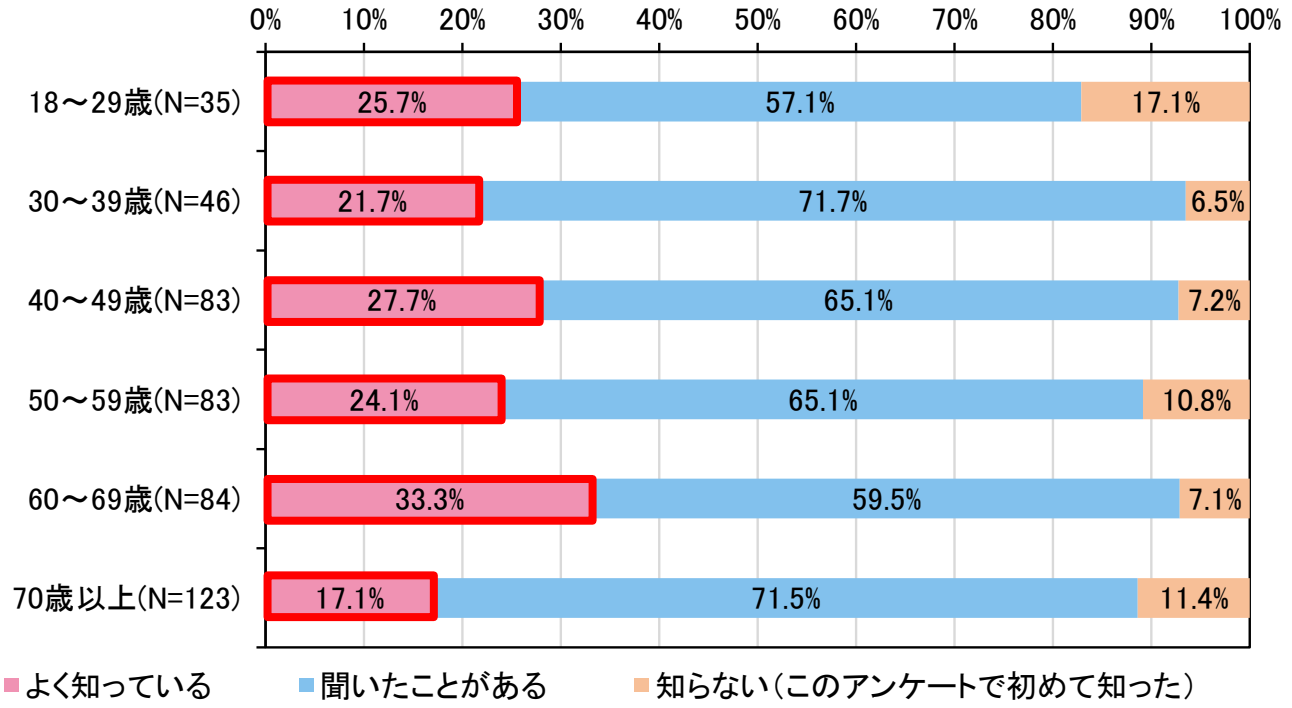


- 「カーボンニュートラル」を「よく知っている」または「聞いたことがある」と回答した方の割合が9割を占めている。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問3】『カーボンニュートラル』という言葉をご存知でしたか。

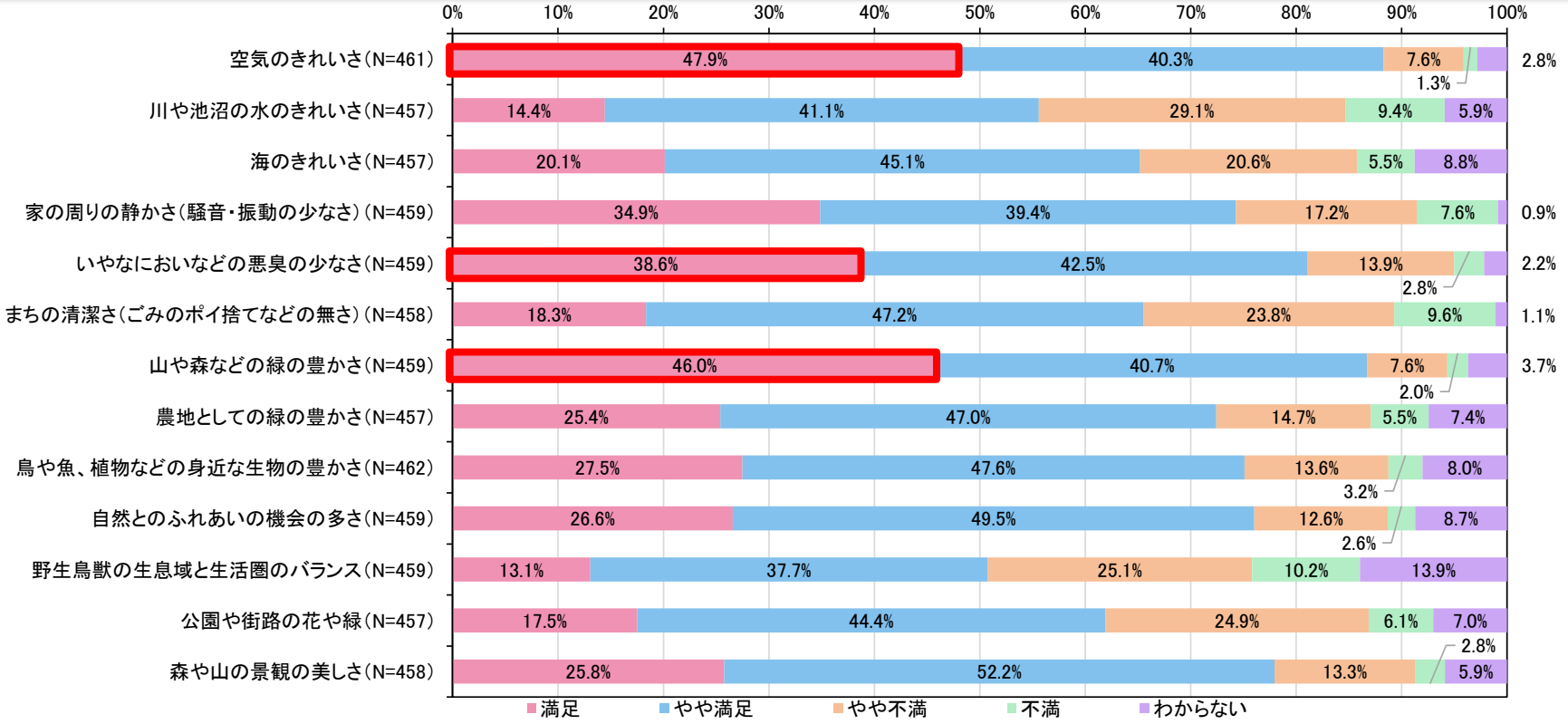
【参考：年代別の傾向】



- いずれの年代も「聞いたことがある」と回答した方の割合が最も高く、「よく知っている」と回答した方の割合は約2～3割程度であるため、周知の機会を設ける必要があると考える。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

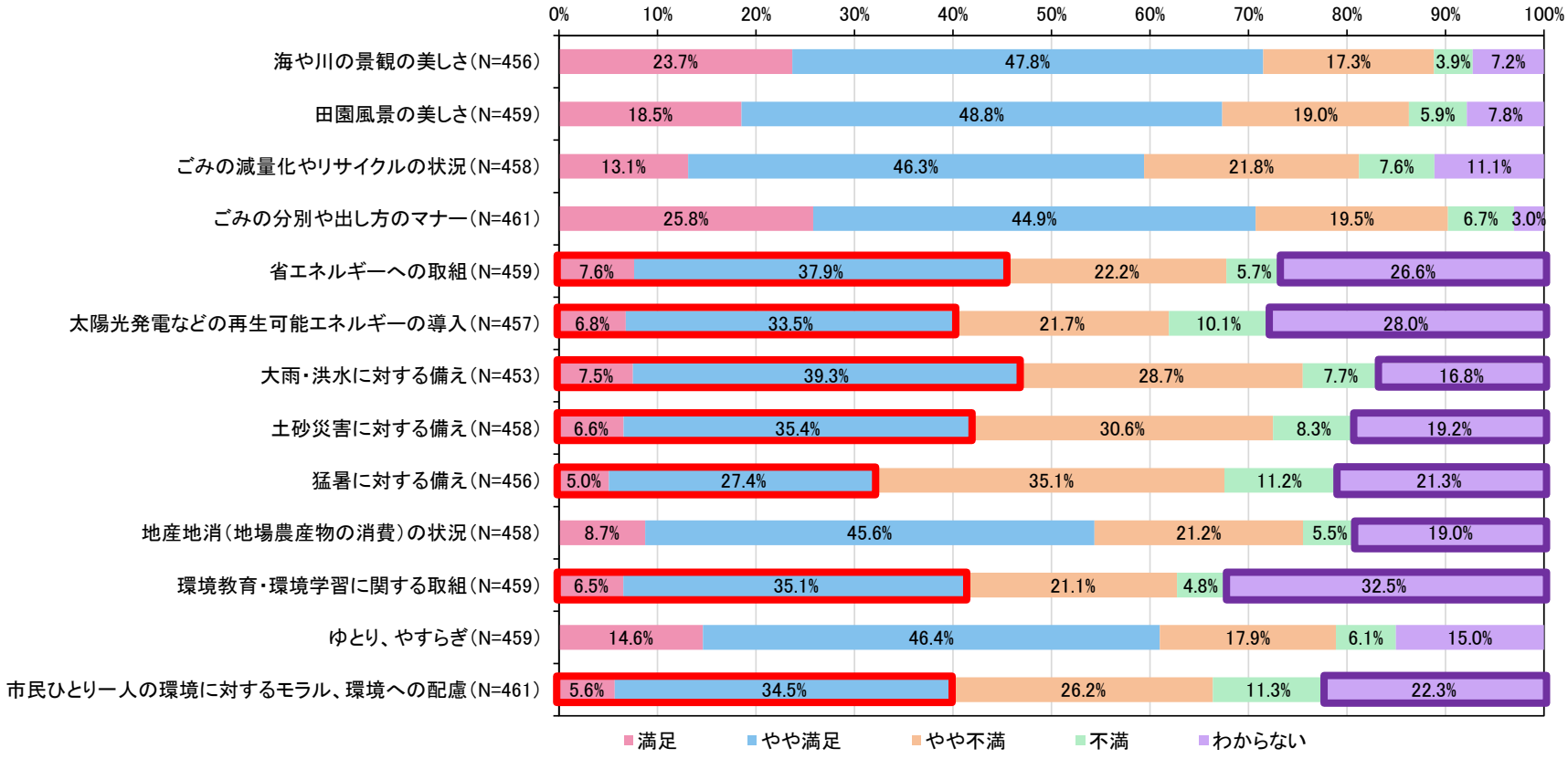
【問4-1】あなたはお住まいの地区の環境についてどの程度満足されていますか。（1/2）



- 「満足」と回答した方の割合が最も高い項目は、「空気のきれいさ」の47.9%であり、次いで「山や森などの緑の豊かさ」の46.0%、「嫌なにおいなどの悪臭の少なさ」の38.6%である。
- 気候変動対策（緩和・適応）や環境教育、環境への配慮に関する項目は、「満足」または「やや満足」と回答した方の割合が5割未満であり、「わからない」と回答した方の割合が約2割を占めている。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

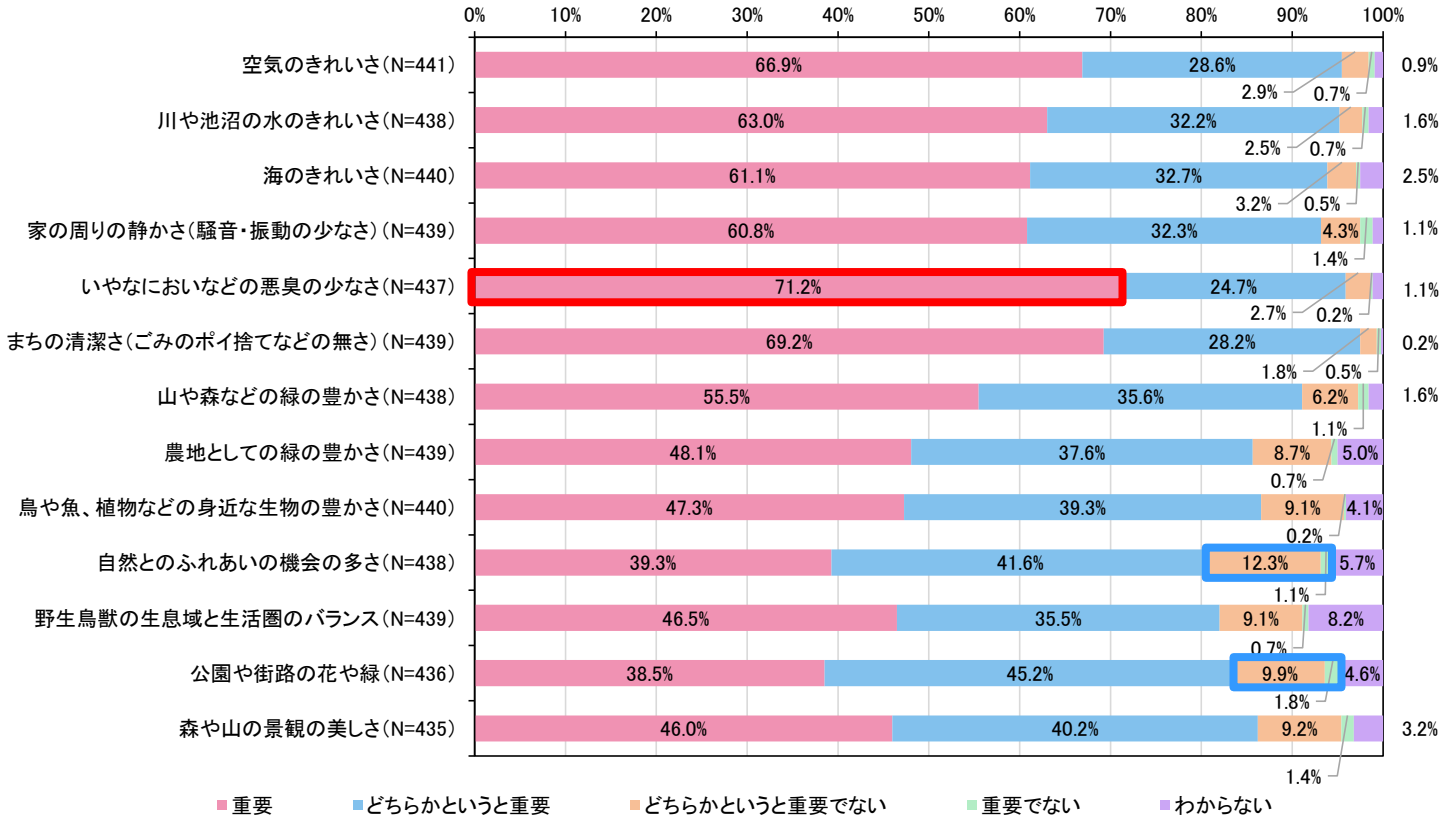
【問4-1】あなたはお住まいの地区の環境についてどの程度満足されていますか。（2/2）



- 「満足」と回答した方の割合が最も高い項目は、「空気のきれいさ」の47.9%であり、次いで「山や森などの緑の豊かさ」の46.0%、「嫌なにおいなどの悪臭の少なさ」の38.6%である。
- 気候変動対策（緩和・適応）や環境教育、環境への配慮に関する項目は、「満足」または「やや満足」と回答した方の割合が5割未満であり、「わからない」と回答した方が約2割を占めている。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

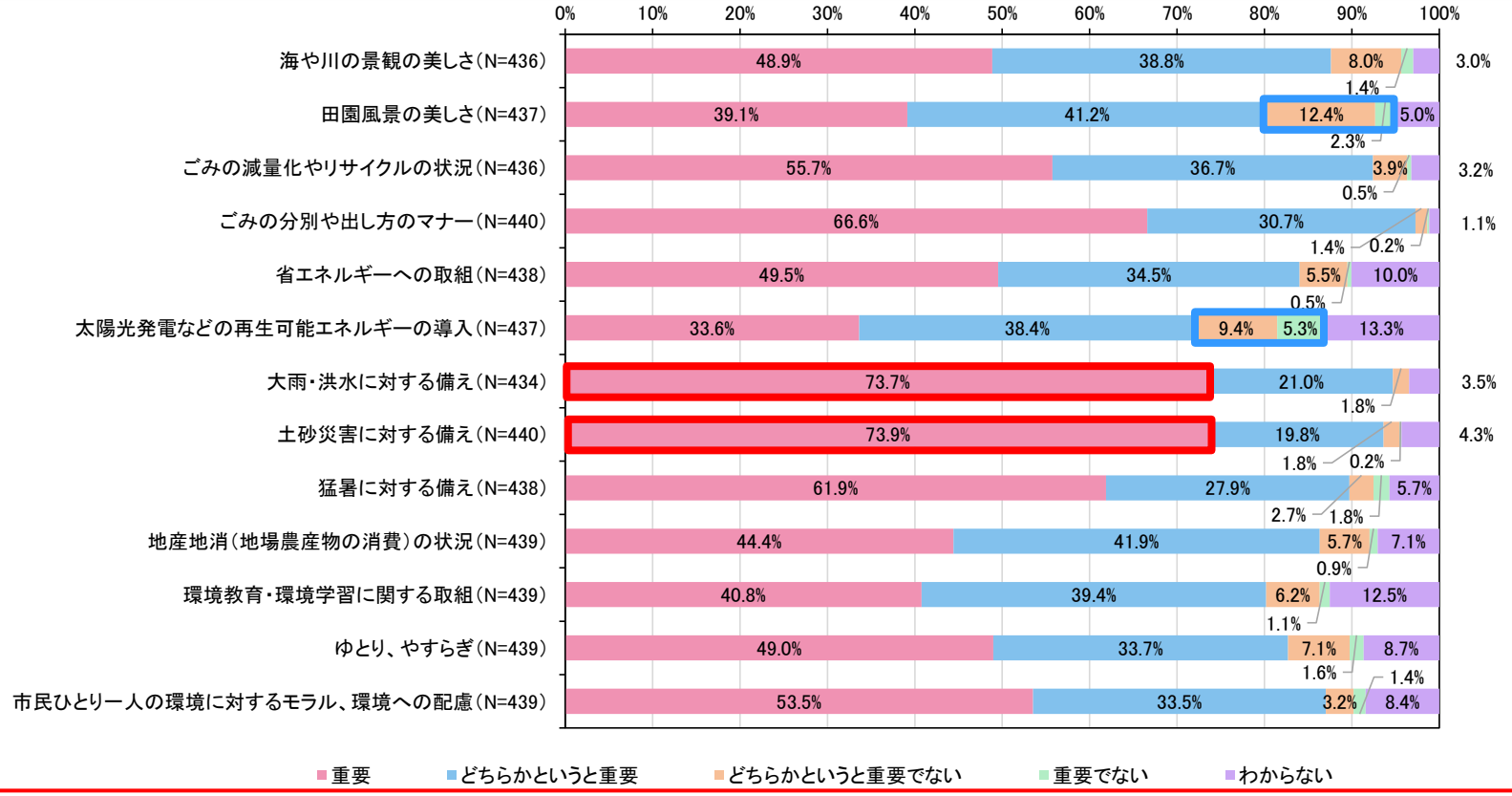
【問4-2】柳井市の将来の望ましい環境にとってどの程度重要だと思いますか。(1/2)



- 「重要」と回答した方の割合が最も高い項目は、「土砂災害に対する備え」の73.9%であり、次いで「大雨・洪水に対する備え」の73.7%、「いやなにおいなどの悪臭の少なさ」の71.2%である。
- 一方、「どちらかというと重要でない」または「重要でない」と回答した方の割合が最も高い項目は、「田園風景の美しさ」及び「太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入」の14.7%であり、次いで「自然とのふれあいの機会の多さ」の13.4%、「公園や街路の花や緑」の11.7%である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

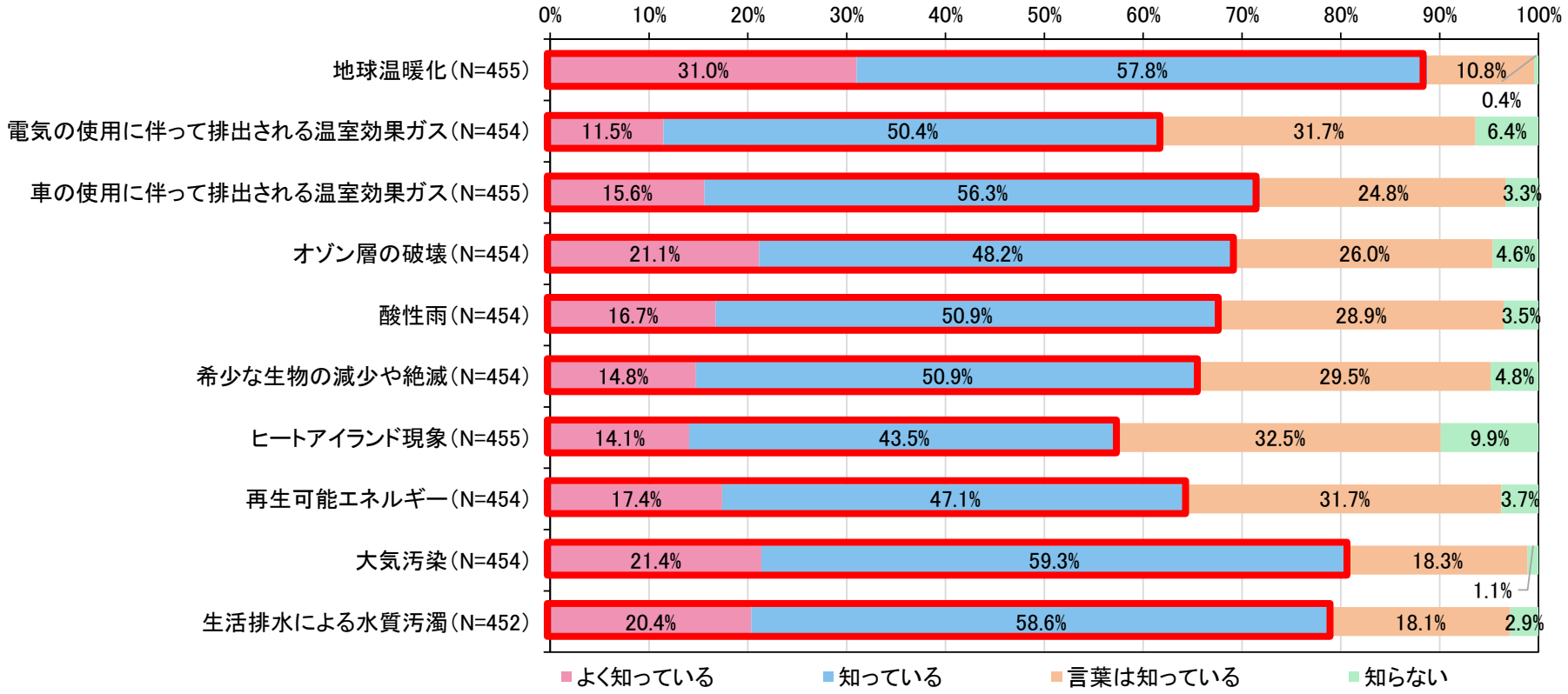
【問4-2】柳井市の将来の望ましい環境にとってどの程度重要だと思いますか。(2/2)



- 「重要」と回答した方の割合が最も高い項目は、「土砂災害に対する備え」の73.9%であり、次いで「大雨・洪水に対する備え」の73.7%、「嫌なにおいなどの悪臭の少なさ」の71.2%である。
- 一方、「どちらかというと重要でない」または「重要でない」と回答した方の割合が最も高い項目は、「田園風景の美しさ」及び「太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入」の14.7%であり、次いで「自然とのふれあいの機会の多さ」の13.4%、「公園や街路の花や緑」の11.7%である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

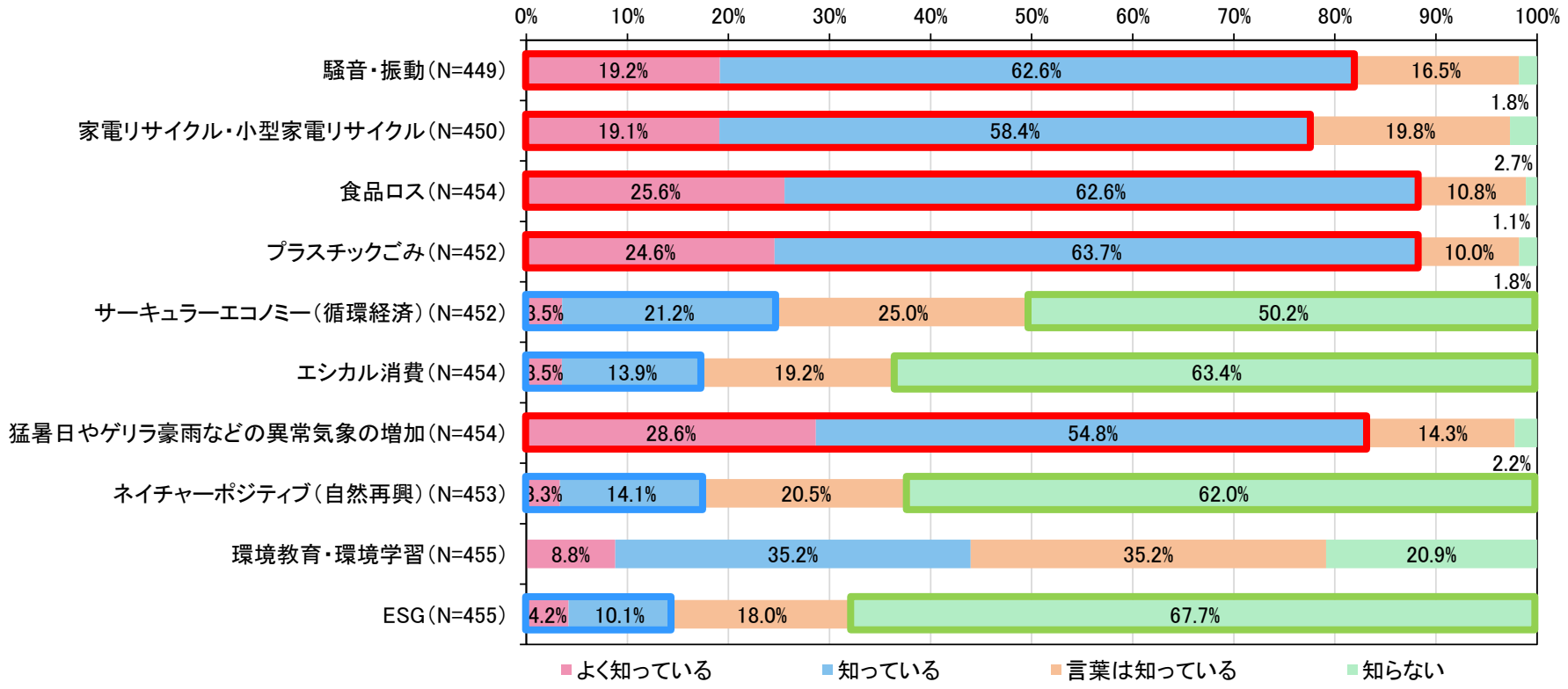
【問5-1】環境に関する次の項目について、どの程度、知っていますか。(1/2)



- 「ヒートアイランド現象」、「サーキュラーエコノミー」、「エシカル消費」、「ネイチャーポジティブ」、「環境教育・環境学習」、「ESG」を除いたすべての項目について、「よく知っている」または「知っている」と回答した方の割合が6割以上を占めている。
- 一方、「サーキュラーエコノミー」、「エシカル消費」、「ネイチャーポジティブ」、「ESG」は、「知らない」と回答した方の割合が5割以上を占めている。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

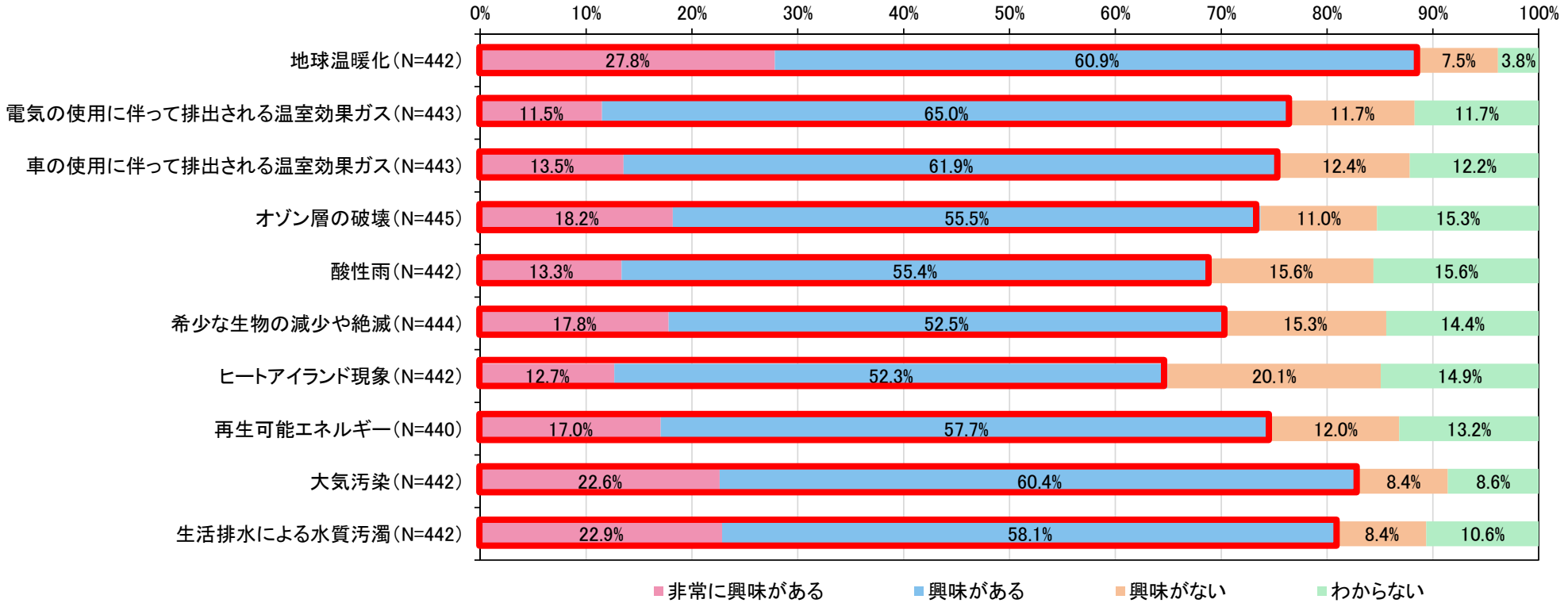
【問5-1】環境に関する次の項目について、どの程度、知っていますか。(2/2)



- 「ヒートアイランド現象」、「サーキュラーエコノミー」、「エシカル消費」、「ネイチャーポジティブ」、「環境教育・環境学習」、「ESG」を除いたすべての項目について、「よく知っている」または「知っている」と回答した方の割合が6割以上を占めている。
- 一方、「サーキュラーエコノミー」、「エシカル消費」、「ネイチャーポジティブ」、「ESG」は、「知らない」と回答した方の割合が5割以上を占めている。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

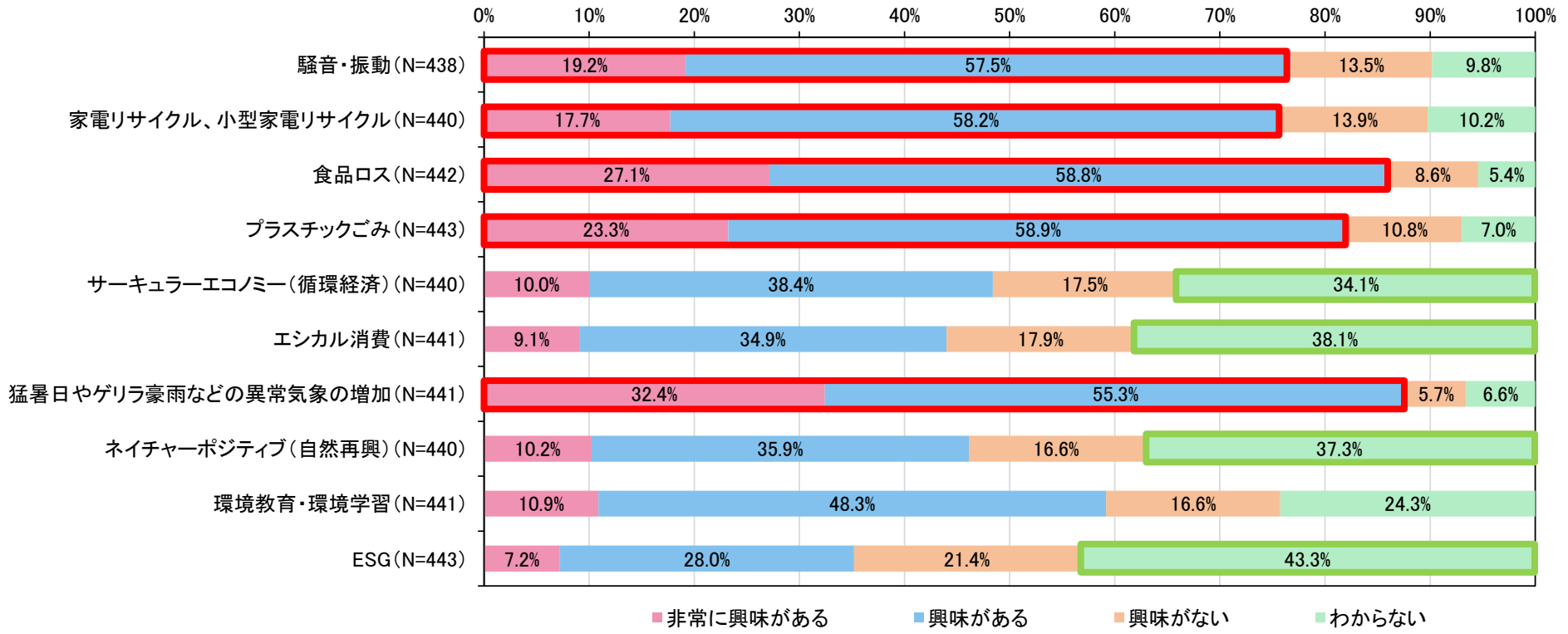
【問5-2】環境に関する次の項目について、興味があるものはどれですか。(1/2)



- 「サーキュラーエコノミー」、「エシカル消費」、「ネイチャーポジティブ」、「環境教育・環境学習」、「ESG」を除いたすべての項目について、「非常に興味がある」または「興味がある」と回答した方の割合が6割以上を占めている。
- 一方、「サーキュラーエコノミー」、「エシカル消費」、「ネイチャーポジティブ」、「ESG」については、「わからない」と回答した方の割合が3割以上を占めており、そもそもの認知度が低い状況である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問5-2】環境に関する次の項目について、興味があるものはどれですか。(2/2)



- 「サーキュラーエコノミー」、「エシカル消費」、「ネイチャーポジティブ」、「環境教育・環境学習」、「ESG」を除いたすべての項目について、「非常に興味がある」または「興味がある」と回答した方の割合が6割以上を占めている。
- 一方、「サーキュラーエコノミー」、「エシカル消費」、「ネイチャーポジティブ」、「ESG」については、「わからない」と回答した方の割合が3割以上を占めており、そもそもの認知度が低い状況である。

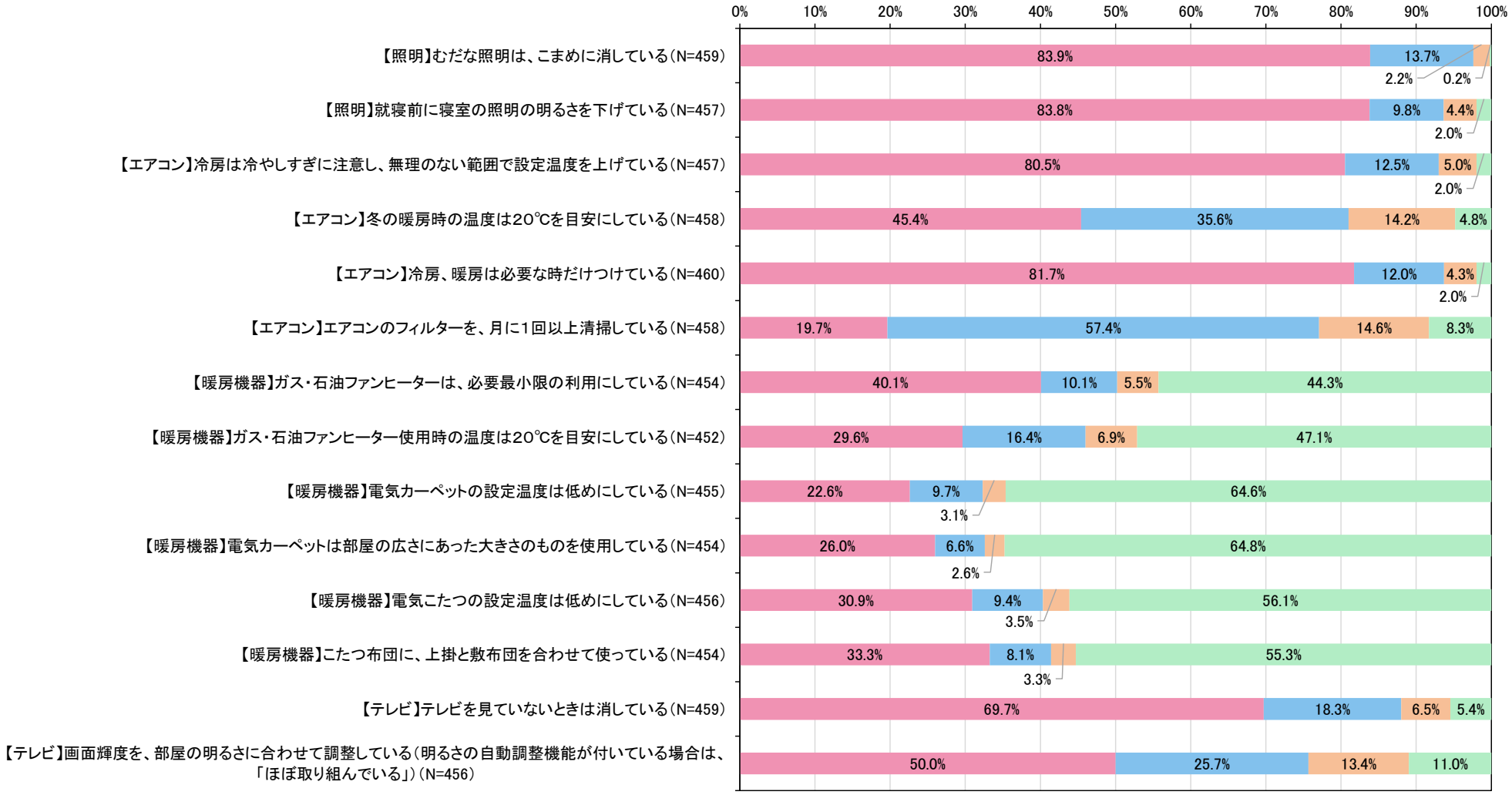
1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問6】地球温暖化防止のための取組をどの程度行っていますか。（1/5）

- 「持っていない・ほぼ使用していない」を除くと、【照明】、【パソコン】、【入浴・トイレ・洗濯・掃除】及び【自動車】の項目は、「ほぼ取り組んでいる」と回答した方の割合が6割以上を占める。
- 一方で「エアコンのフィルターを、月に1回以上清掃している」、「できるだけ公共交通機関・自転車・徒歩で移動している」については、「ほぼ取り組んでいる」と回答した方の割合が3割未満となっている（「持っていない・ほぼ使用していない」を除く）。
- 「持っていない・ほぼ使用していない」を除くと、「家の周りや地域で緑を増やすようにしている」、「できるだけ公共交通機関・自転車・徒歩で移動している」以外については、「ほぼ取り組んでいる」または「あまり取り組んでいないが、今後は取り組みたい」と回答した方の割合が8割以上を占めており、地球温暖化対策への意欲が高いと考えられる。

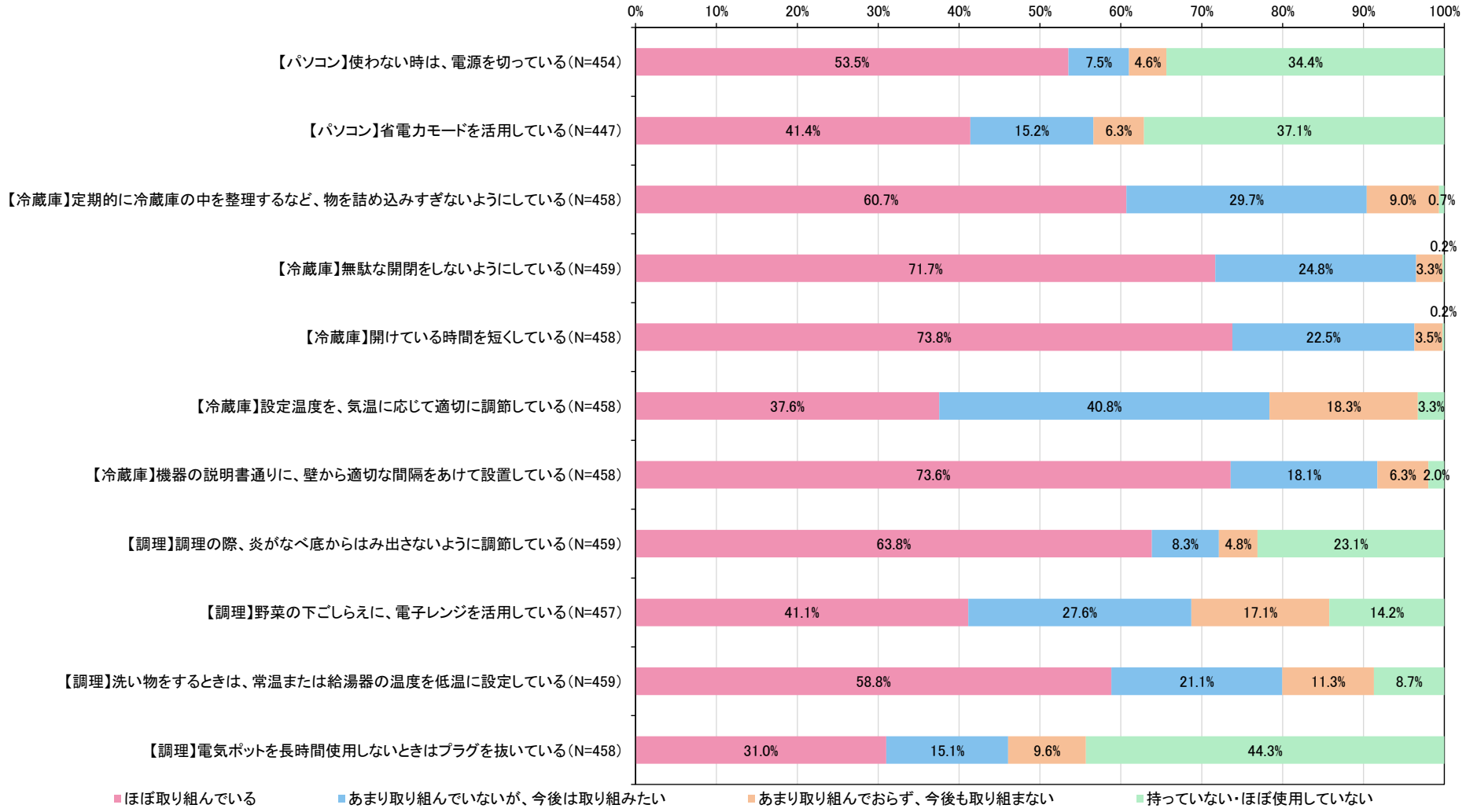
1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問6】地球温暖化防止のための取組をどの程度行っていますか。(2/5)



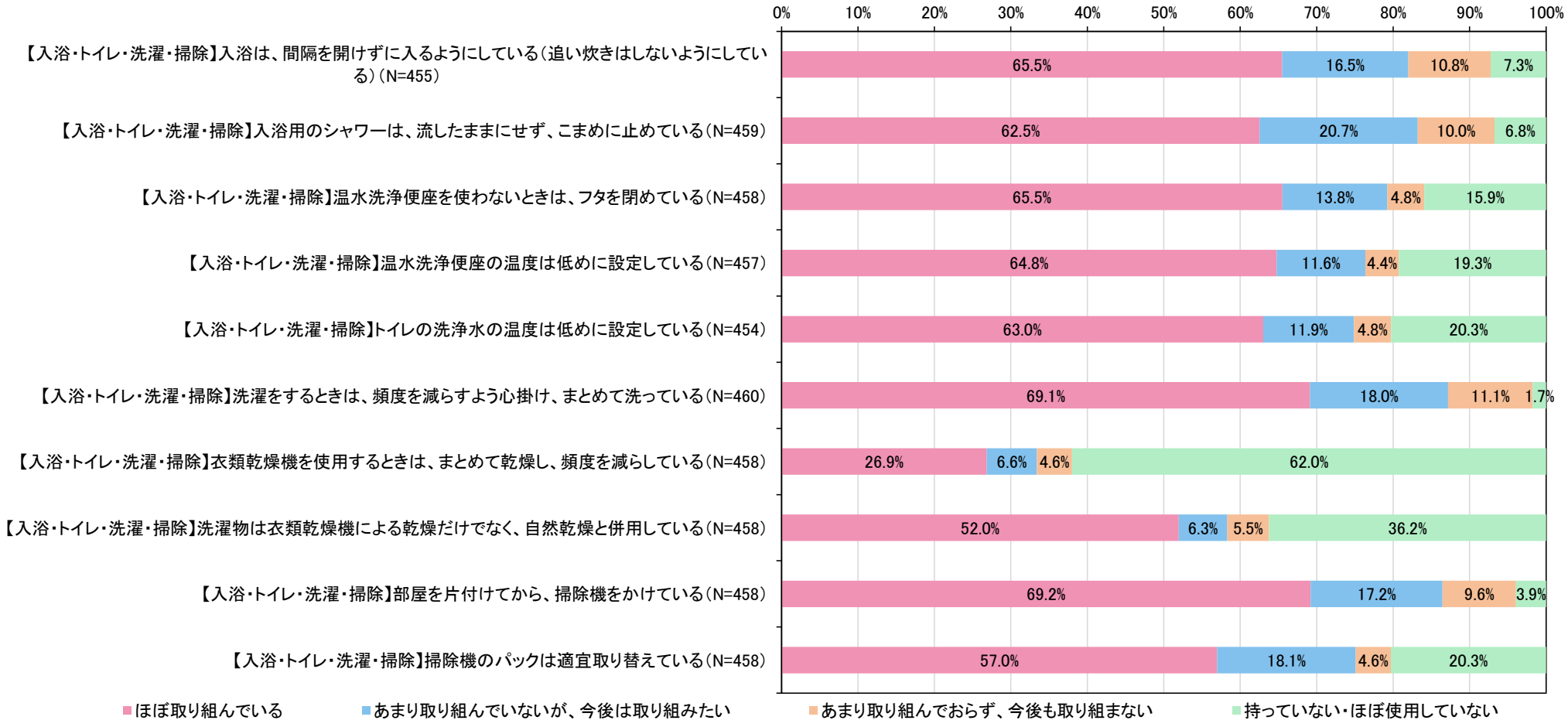
1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問6】地球温暖化防止のための取組をどの程度行っていますか。(3/5)



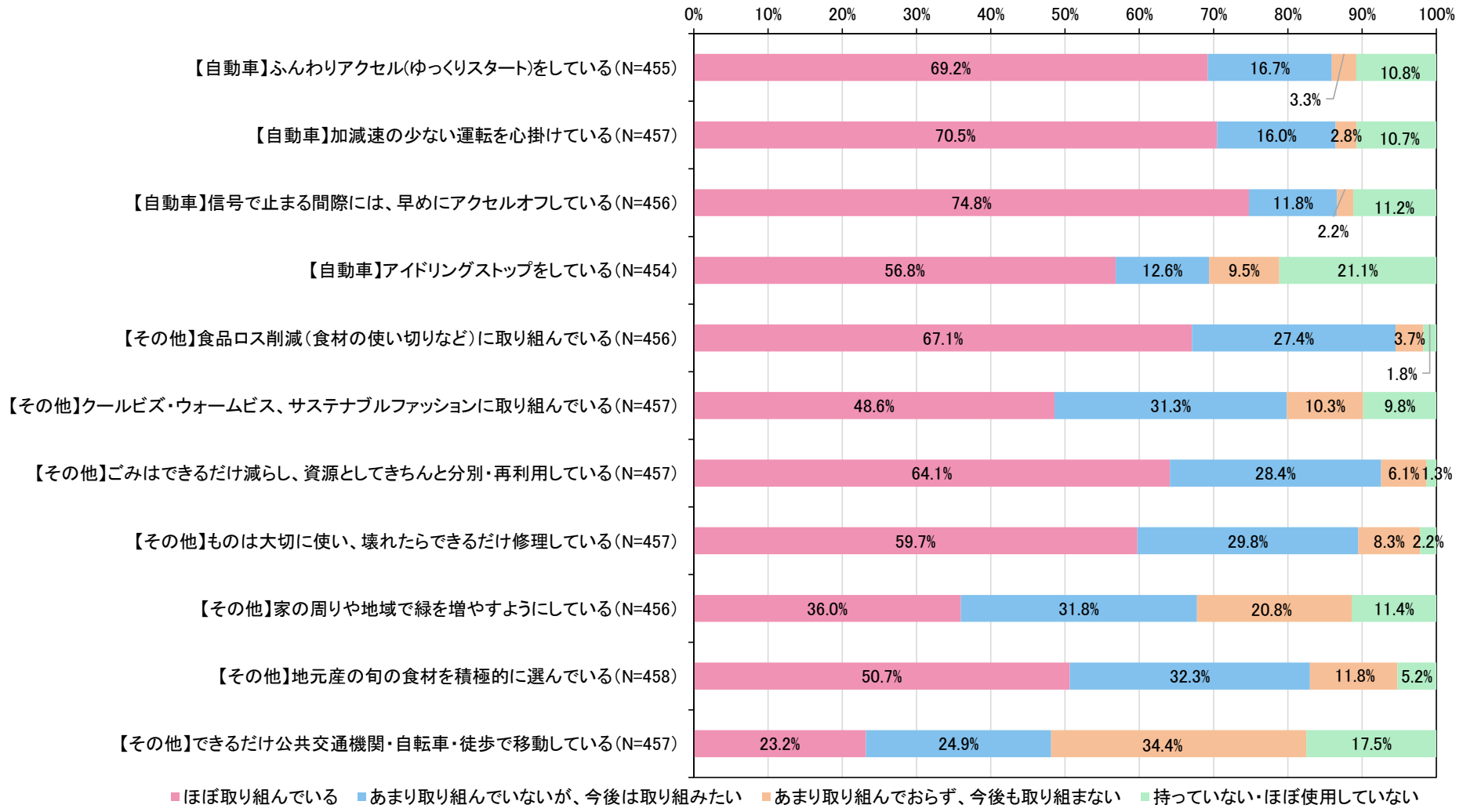
1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問6】地球温暖化防止のための取組をどの程度行っていますか。(4/5)



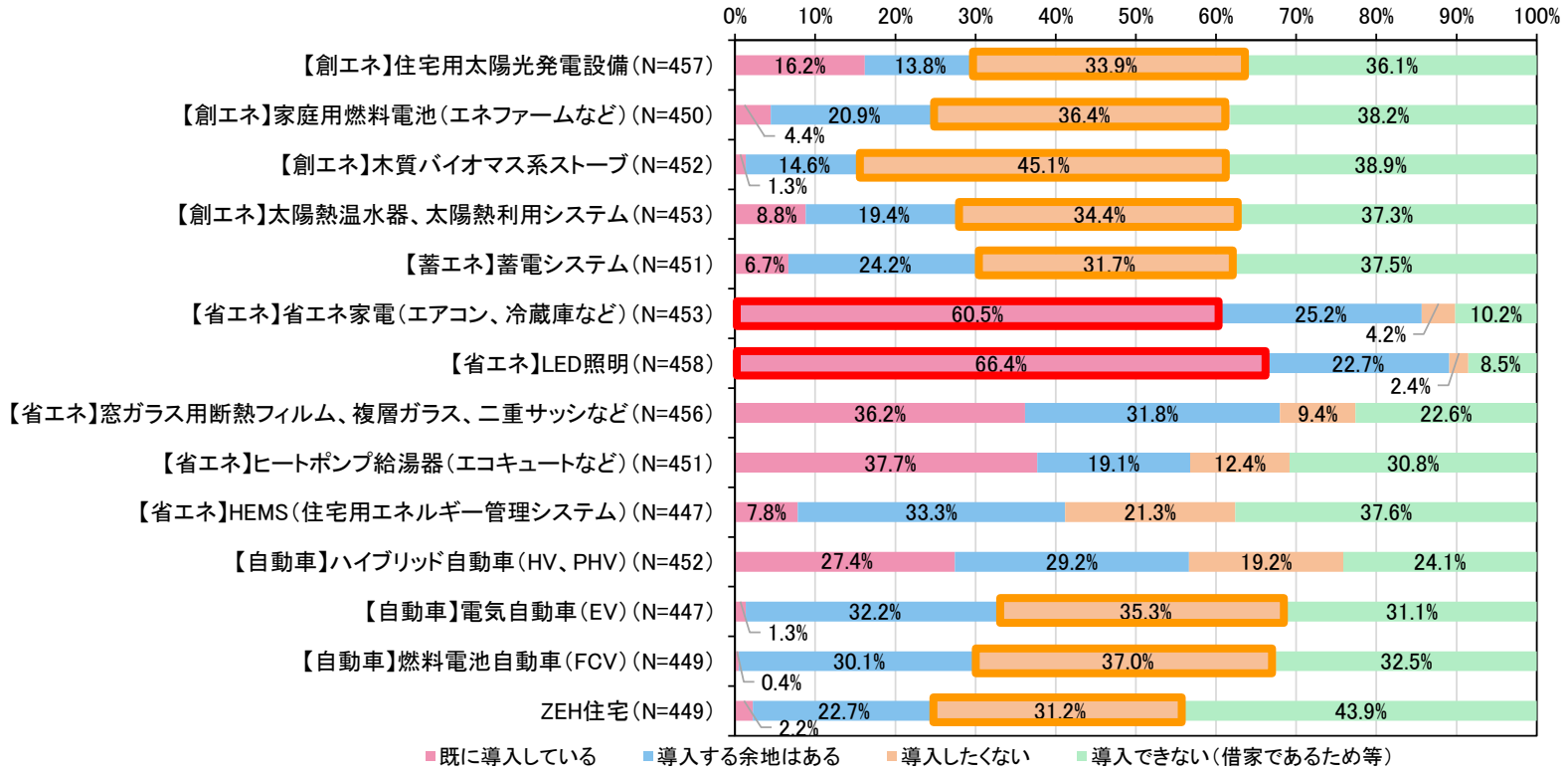
1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問6】地球温暖化防止のための取組をどの程度行っていますか。(5/5)



1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問7】地球温暖化防止につながる設備のうち、「現在の導入状況（予定）」

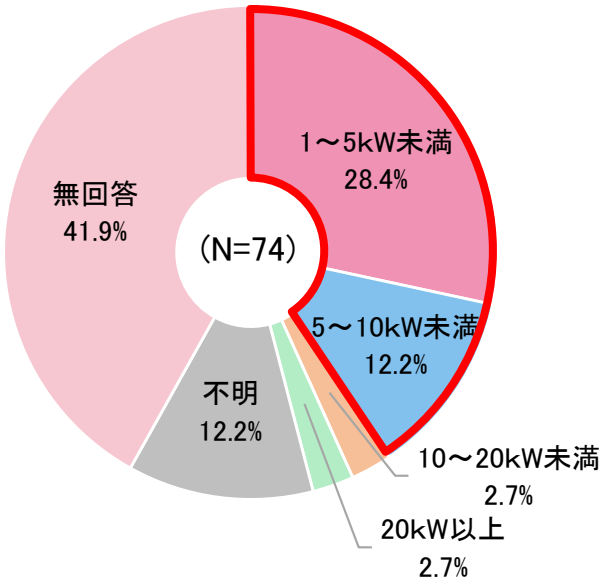


- 「導入できない」と回答した方を除いて、全省エネ機器と「【自動車】ハイブリッド自動車」は、「既に導入している」または「導入する余地はある」と回答した方の割合が6割以上を占めている。
- 一方、「導入できない」と回答した方を除くと、全創エネ機器及び蓄エネ機器、「【自動車】電気自動車」、「【自動車】燃料電池自動車」、「ZEH住宅」は、「導入したくない」と回答した方の割合が5割以上を占めている。

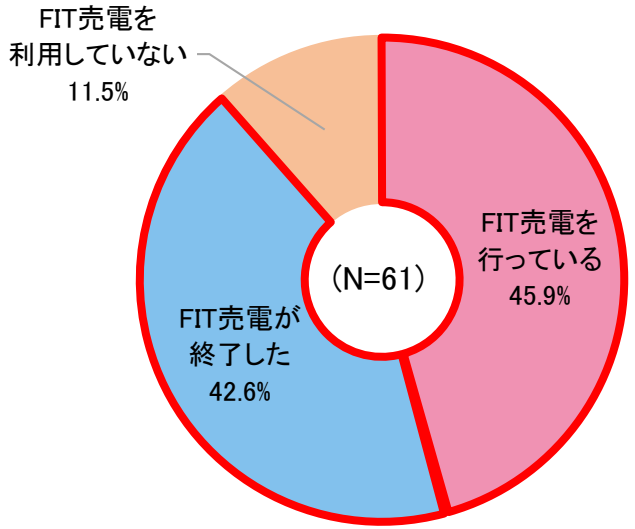
1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問8】問7で“住宅用太陽光発電設備”を『既に導入している』と回答した方にお聞きします。
現在の太陽光発電の設備及び売電状況

【発電能力】



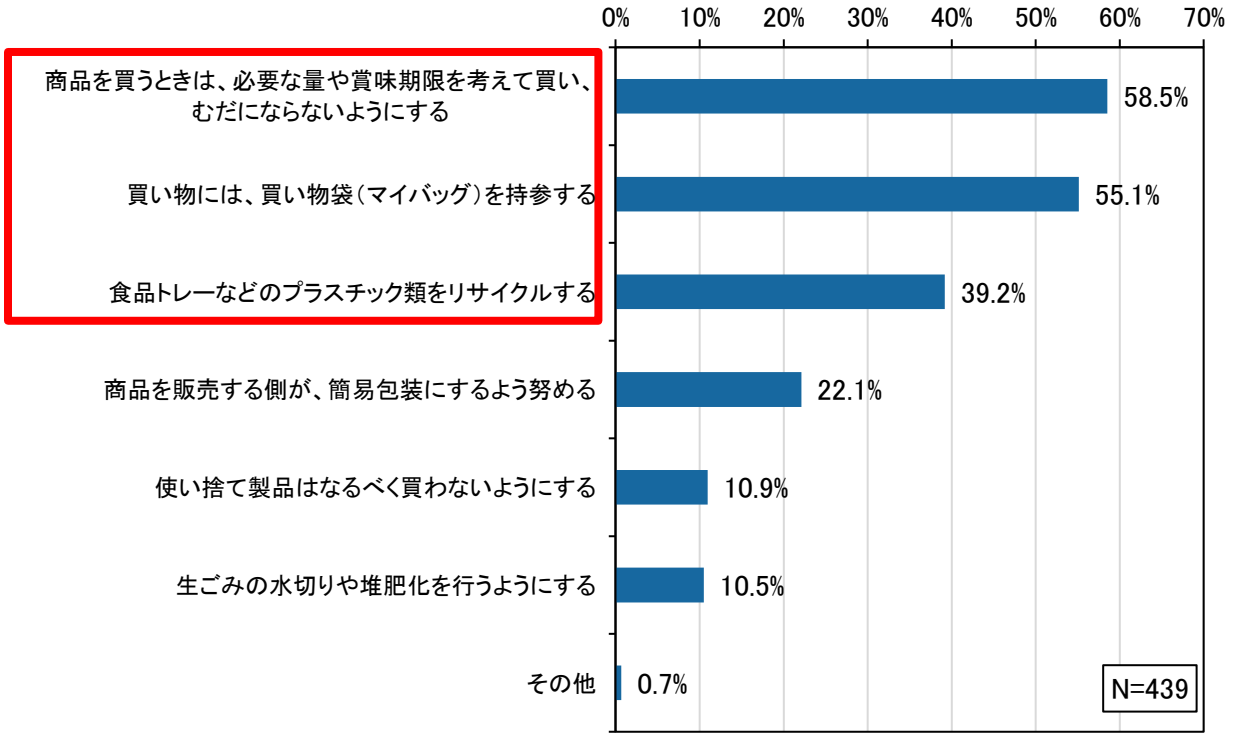
【売電状況】



- 発電能力を回答した方の割合は、1～5kWが最も高く28.4%であり、次いで5～10kW及び不明の12.2%である。
- 売電状況について、FIT売電を行っている方とFIT売電が終了した方の割合が、ほぼ同程度である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

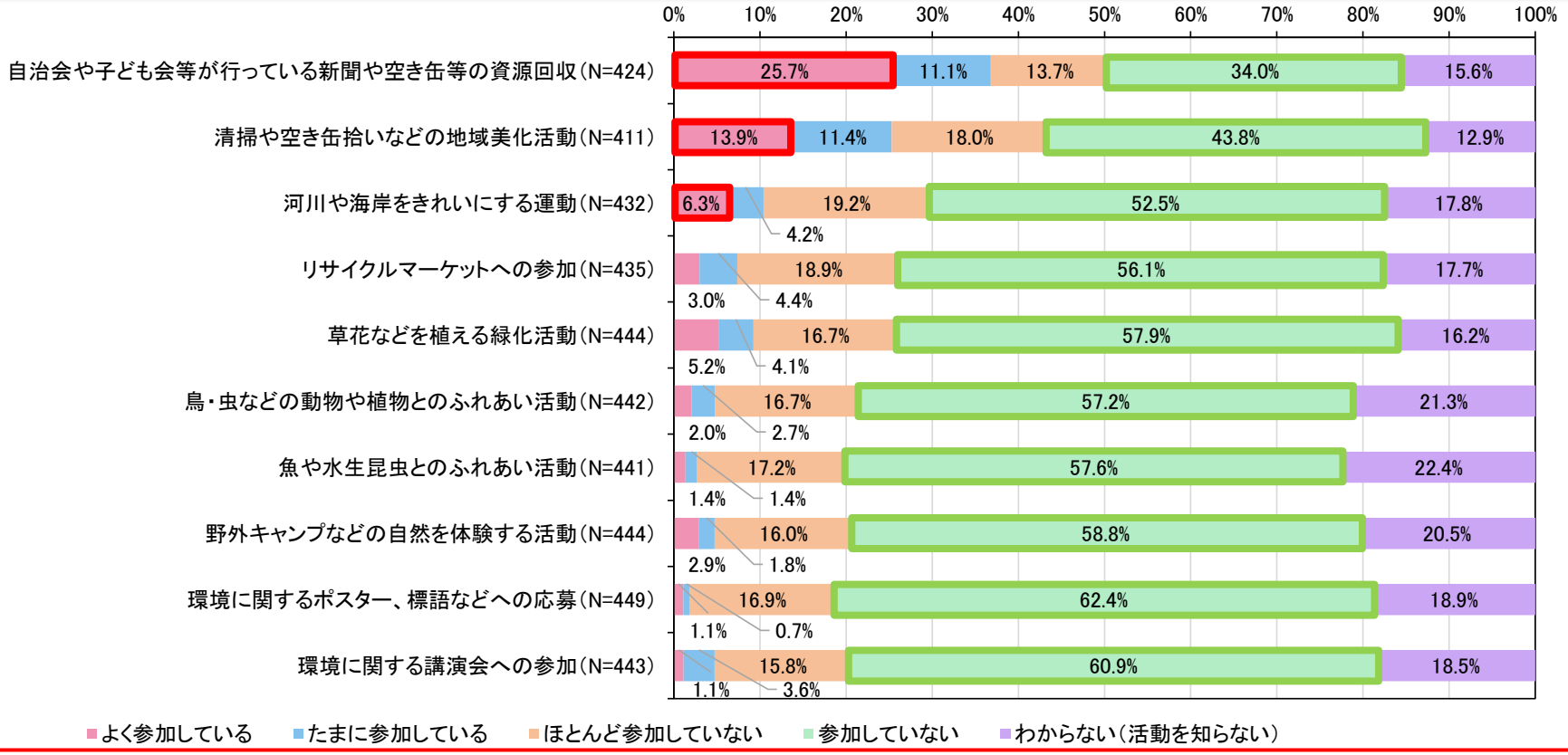
【問9】家庭から出るごみを減らすためには、どのようにすればよいと思いますか。



- 家庭ごみの削減の取組としては、「商品を買うときは、必要な量や賞味期限を考えて買い、むだにならないようにする」と回答した方の割合が最も高く58.5%であり、次いで「買い物には、買い物袋（マイバッグ）を持参する」が55.1%、「食品トレーなどのプラスチック類をリサイクルする」が39.2%である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

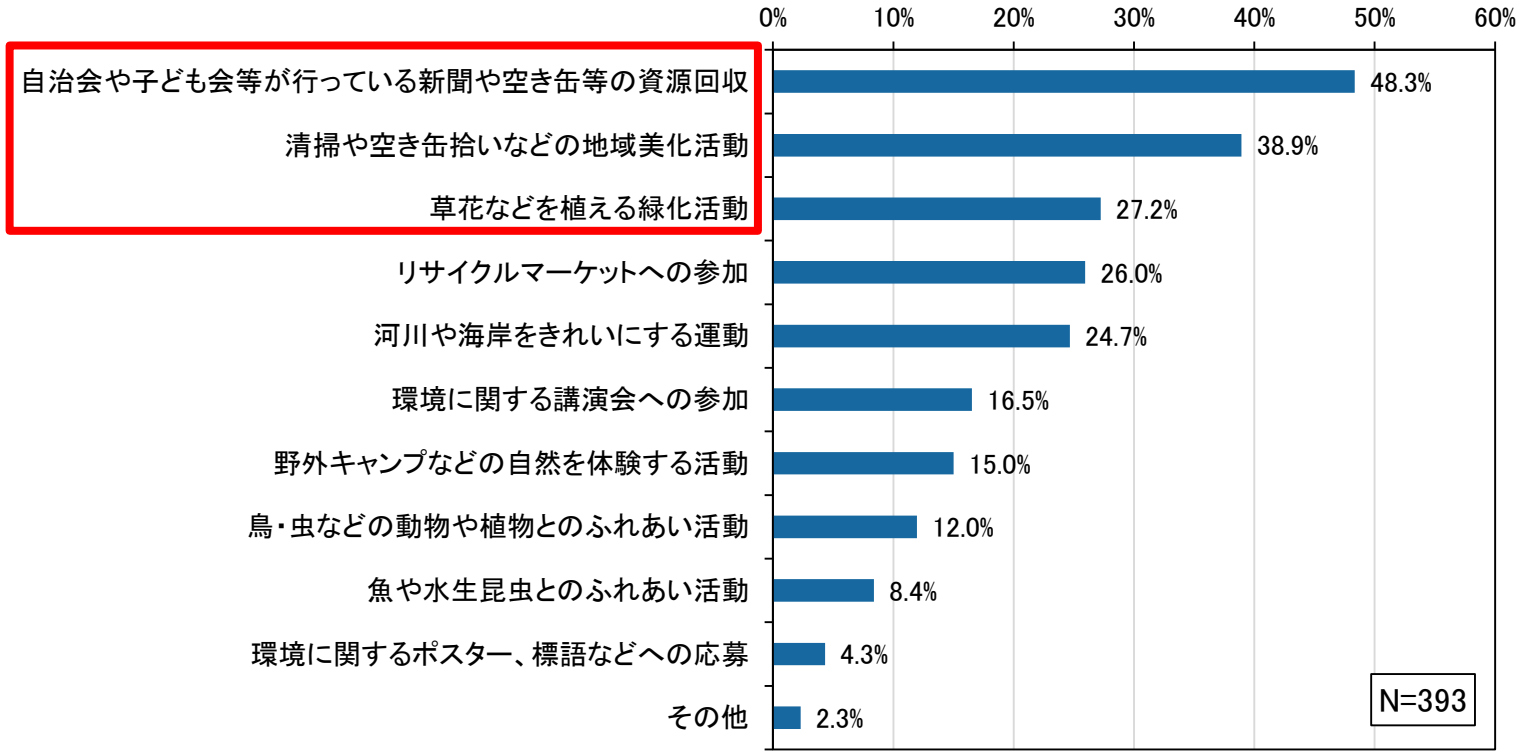
【問10】次のような環境に関する地域や団体での活動に参加していますか。



- 「よく参加している」と回答した方の割合が最も高い活動は、「自治会や子ども会等が行っている新聞や空き缶等の資源回収」の25.7%であり、次いで「清掃や空き缶拾いなどの地域美化活動」の13.9%、「河川や海岸をきれいにする運動」の6.3%である。
- いずれの活動も「参加していない」と回答した方の割合が最も高い。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

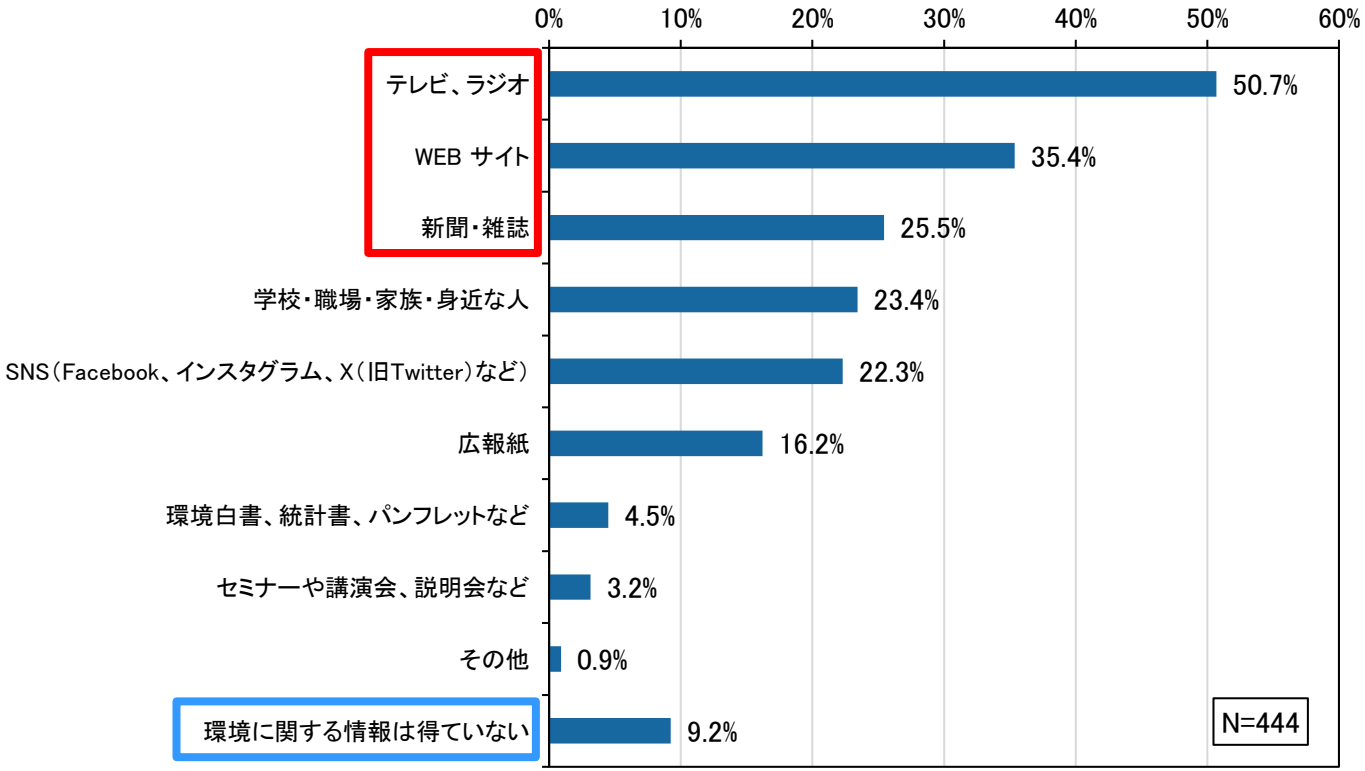
【問11】問10の環境保全活動の中で、あなたが今後も続けたい、あるいは今後参加してみたいと思うものはどれですか。



- 「自治会や子ども会等が行っている新聞や空き缶等の資源回収」と回答した方の割合が最も高く48.3%であり、次いで「清掃や空き缶拾いなどの地域美化活動」の38.9%、「草花などを植える緑化活動」の27.2%である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

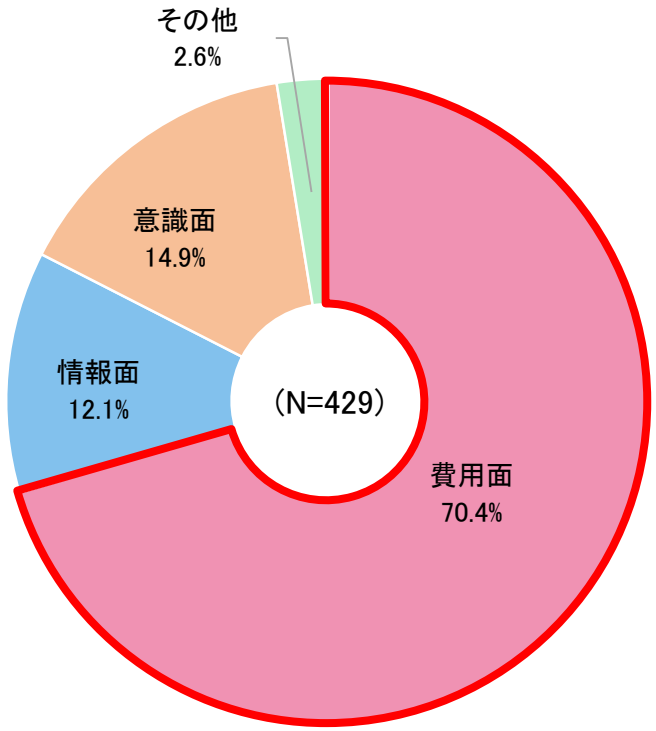
【問12】環境に関する情報をどこから得ていますか。



- 「テレビ・ラジオ」と回答した方の割合が50.7%と最も高く、次いで「WEBサイト」が35.4%、「新聞・雑誌」が25.5%である。
- 一方、「環境に関する情報は得ていない」と回答した方の割合が約1割占めている。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

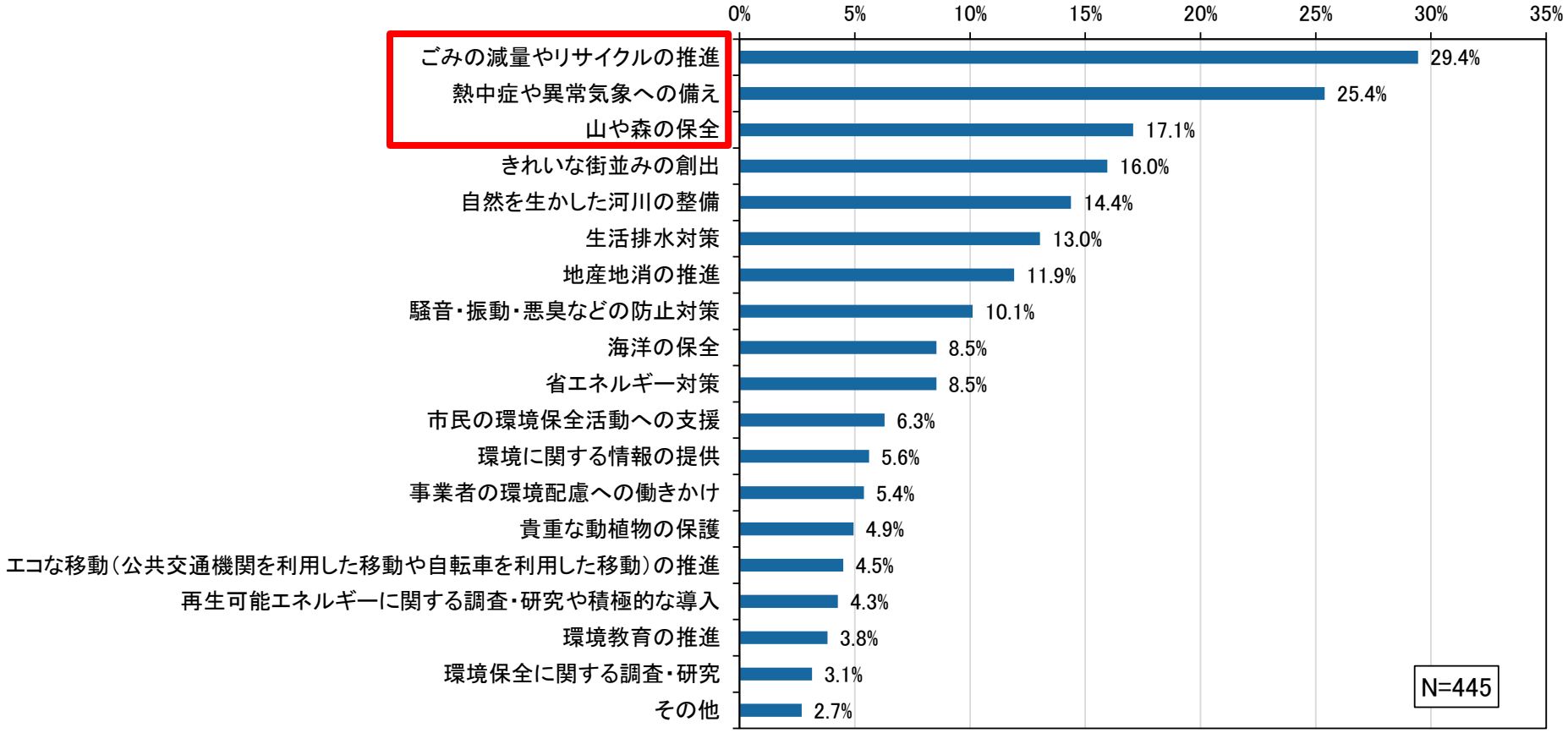
【問13】家庭で環境にやさしい行動を実践する場合、課題となることは何ですか。



- 「費用面」と回答した方の割合が70.4%と最も高く、次いで「意識面」の14.9%である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

【問14】環境の保全を推進していくために、必要となる施策



- 「ごみの減量やリサイクルの推進」と回答した方の割合が29.4%と最も高く、次いで「熱中症や異常気象への備え」が25.4%、「山や森の保全」が17.1%である。

1. 市民アンケート調査の取りまとめ

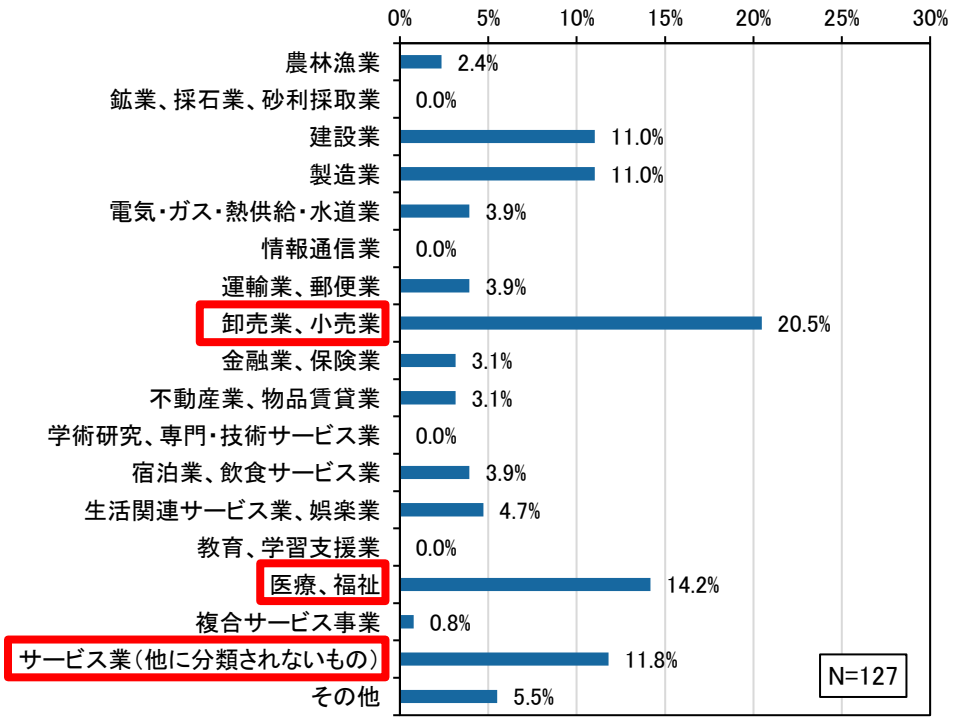
【問15】柳井市の環境や地球環境に関して、ご意見、ご要望等がありましたら、ご記入ください。

- 「草木の繁茂」や「水辺環境の改善」といった身近な環境に関する意見・要望が最も多く、次いで「太陽光発電」に対する否定的な意見、ごみ問題（ごみの分別、処理方法、マナー）に関する意見・要望が多かった。

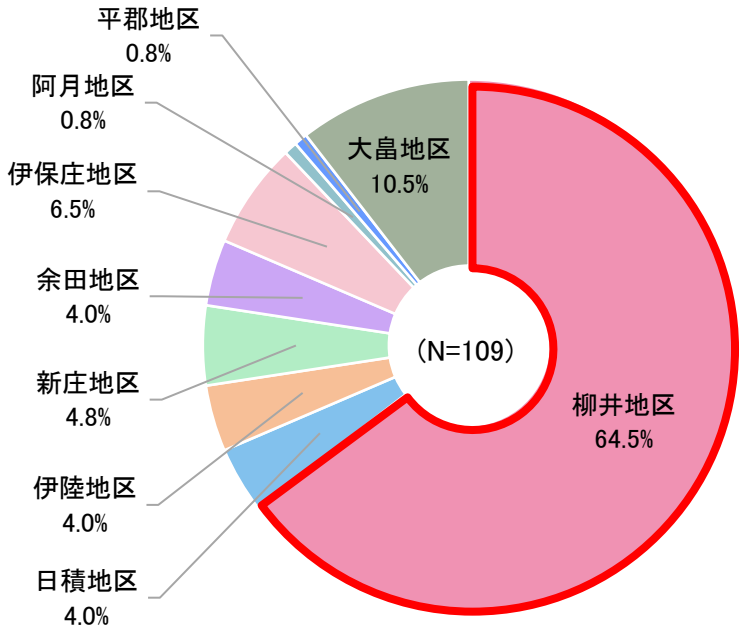
2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

【問1】業種・所在地を教えてください。

業種



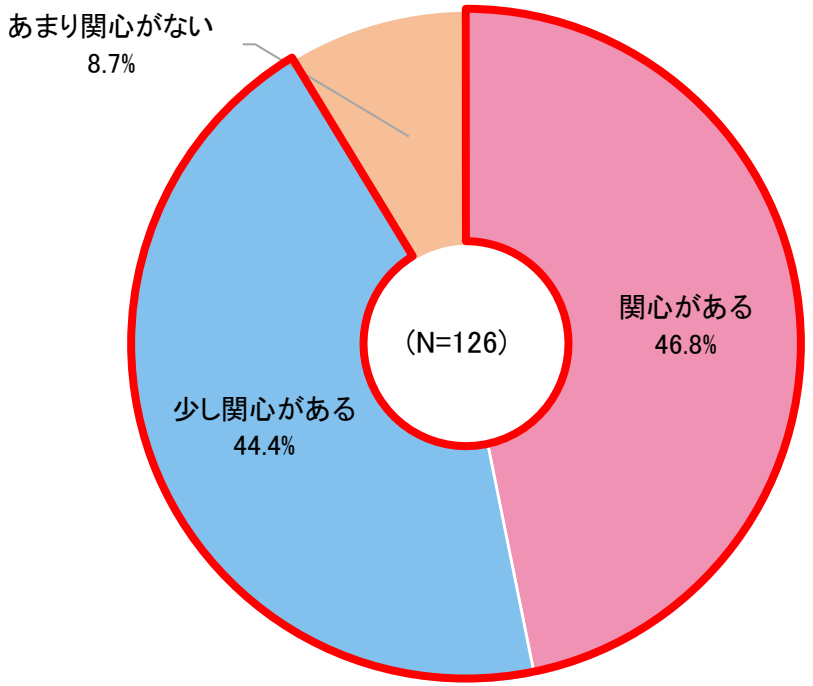
所在地



- 回答事業所の業種は、「卸売業・小売業」の20.5%が最も多く、次いで「医療、福祉」の14.2%、「サービス業（他に分類されないもの）」の11.8%である。
- 回答事業所の所在地は、「柳井地区」の64.5%が最も多く、次いで「大畠地区」の10.5%、「伊保庄地区」の6.5%である。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

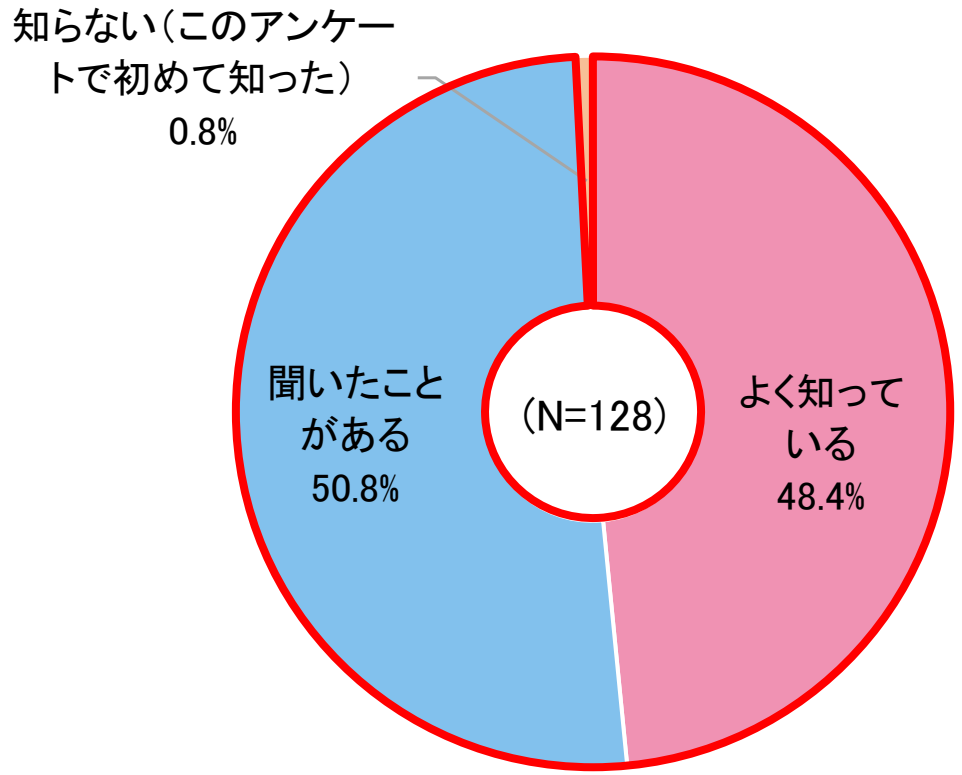
【問2】環境問題に関心がありますか。



- 「関心がある」または「少し関心がある」と回答した事業者の割合が9割以上を占めている。そのため、環境問題に対する関心は高いと考えられる。
- 「関心がない」と回答した事業者はいなかった。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

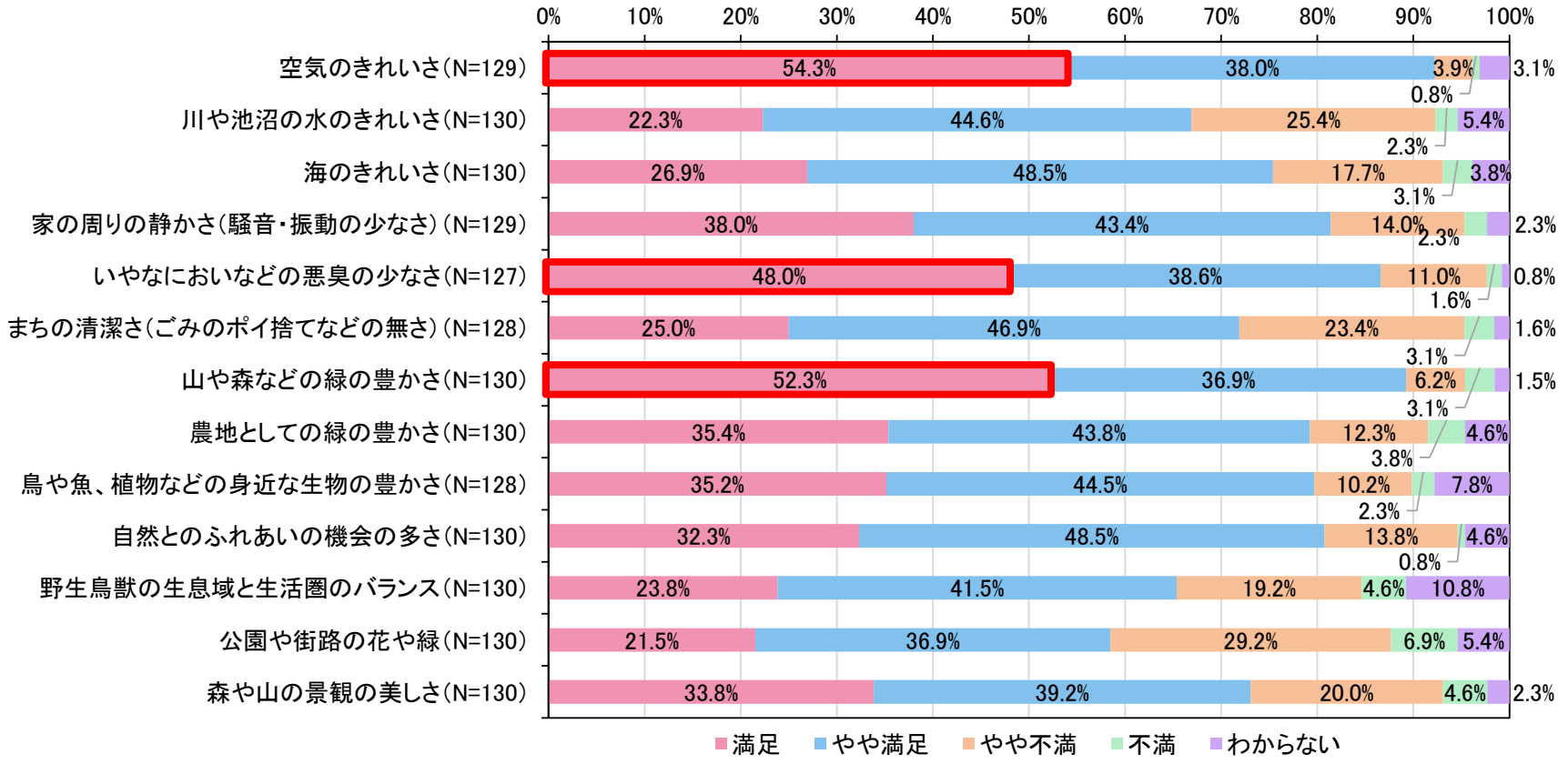
【問3】『カーボンニュートラル』という言葉をご存知でしたか。



- ほぼすべての事業者が「カーボンニュートラル」を「よく知っている」または「聞いたことがある」と回答した。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

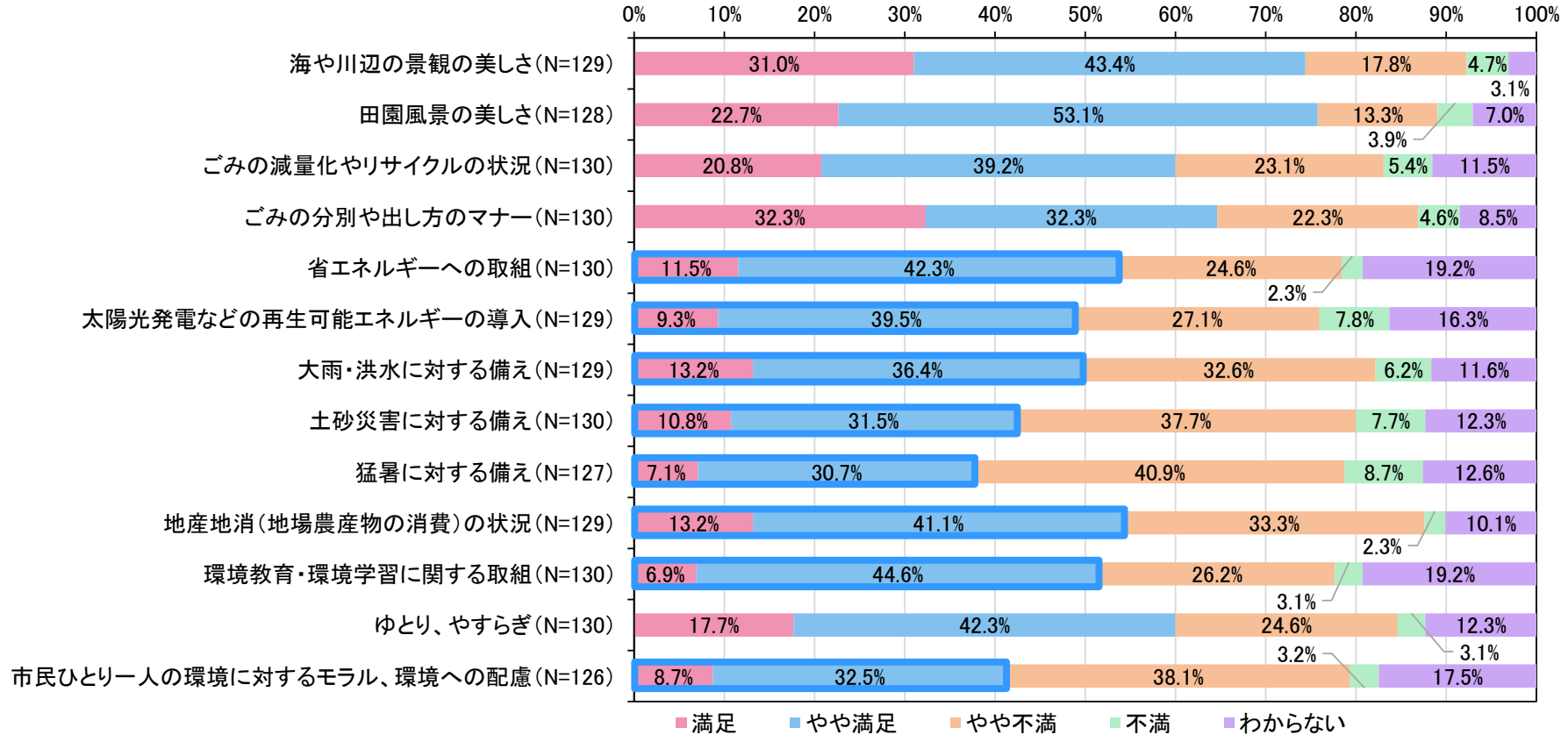
【問4-1】柳井市の環境についてどの程度満足されていますか。（1/2）



- 「満足」と回答した事業者の割合が最も高い項目は、「空気のきれいさ」の54.3%であり、次いで「山や森などの緑の豊かさ」の52.3%、「いやなにおいなどの悪臭の少なさ」の48.0%である。
- 市民同様、気候変動対策（緩和・適応）や環境教育、環境への配慮に関する項目は、「満足」または「やや満足」と回答した事業者の割合が5割程度もしくは5割未満である。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

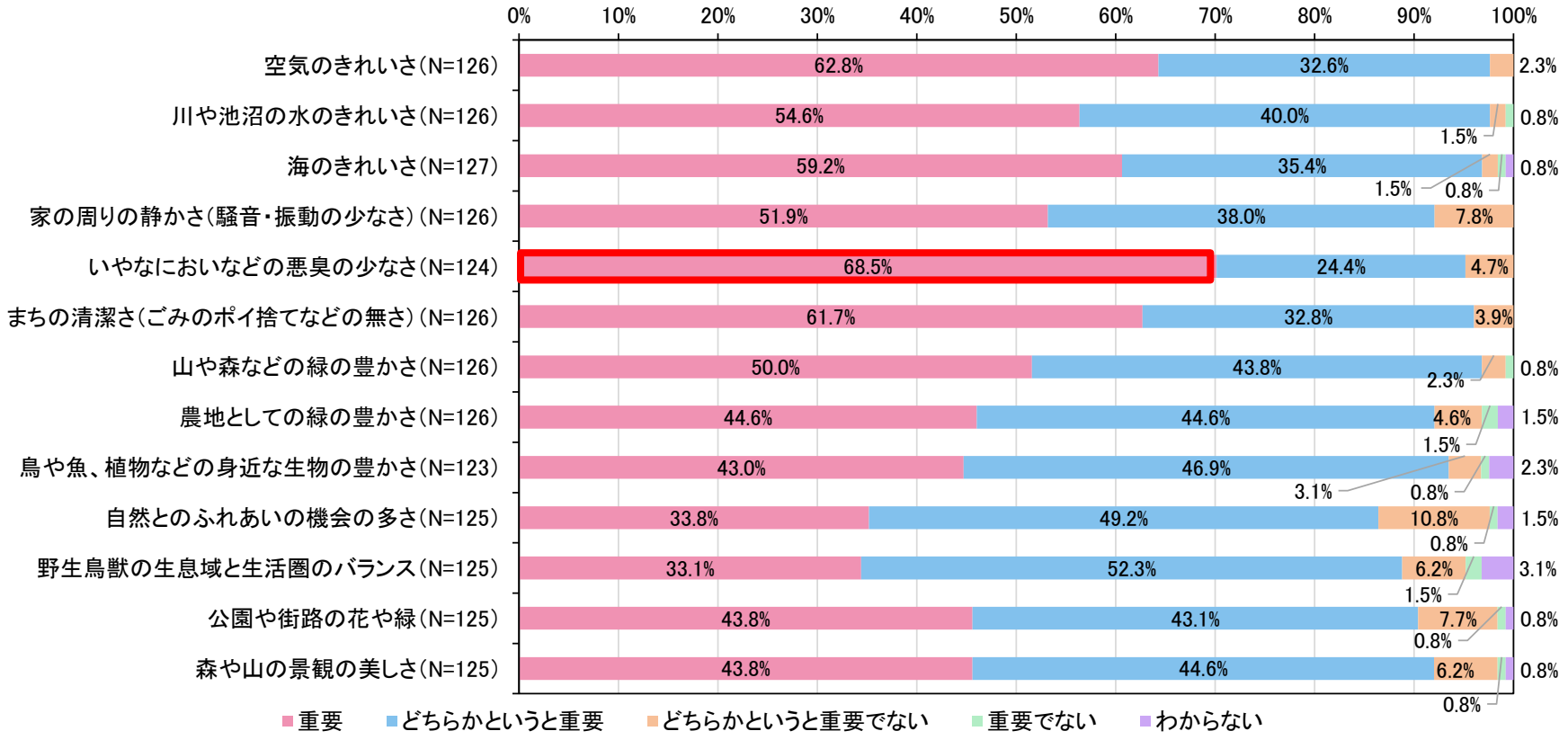
【問4-1】柳井市の環境についてどの程度満足されていますか。（2/2）



- 「満足」と回答した事業者の割合が最も高い項目は、「空気のきれいさ」の54.3%であり、次いで「山や森などの緑の豊かさ」の52.3%、「いやなにおいなどの悪臭の少なさ」の48.0%である。
- 市民同様、気候変動対策（緩和・適応）や環境教育、環境への配慮に関する項目は、「満足」または「やや満足」と回答した事業者の割合が5割程度もしくは5割未満である。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

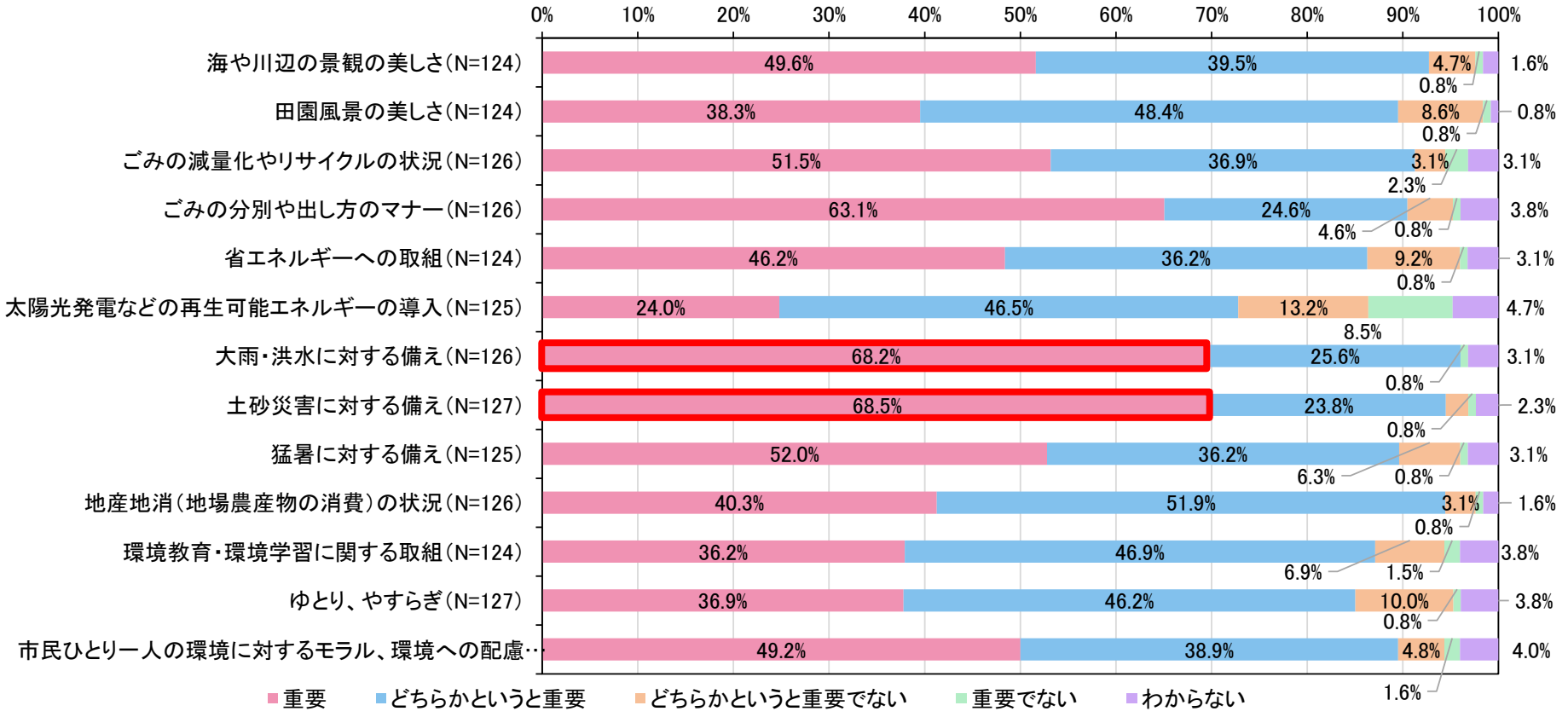
【問4-2】柳井市の将来の望ましい環境にとってどの程度重要だと思いますか。(1/2)



- 「重要」と回答した事業者の割合が最も高い項目は、「土砂災害に対する備え」及び「いやなにおいなどの悪臭の少なさ」の68.5%であり、次いで「大雨・洪水に対する備え」が68.2%、である。
- 市民同様、生活環境や気候変動対策(適応)に関する項目は、比較的「重要」と回答した事業者の割合が高かった。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

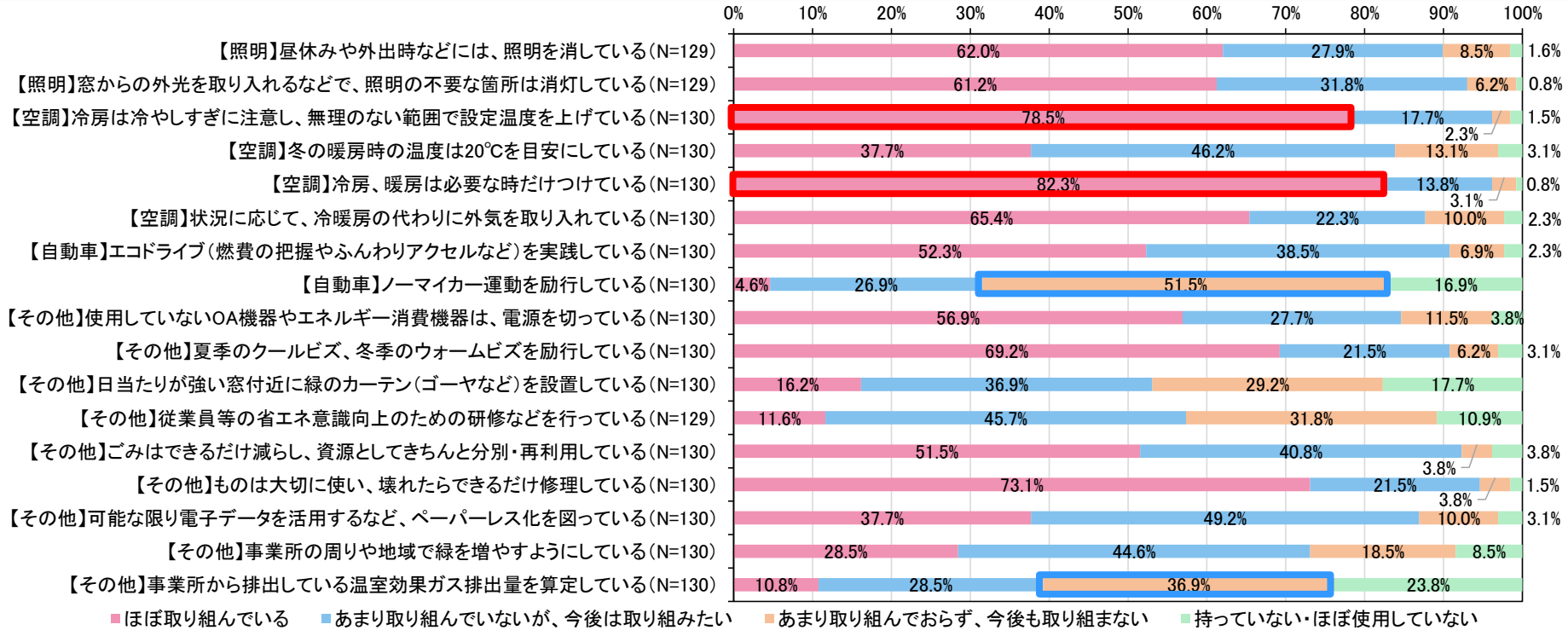
【問4-2】柳井市の将来の望ましい環境にとってどの程度重要だと思いますか。(2/2)



- 「重要」と回答した事業者の割合が最も高い項目は、「土砂災害に対する備え」及び「いやなにおいなどの悪臭の少なさ」の68.5%であり、次いで「大雨・洪水に対する備え」が68.2%、である。
- 市民同様、生活環境や気候変動対策(適応)に関する項目は、比較的「重要」と回答した事業者の割合が高かった。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

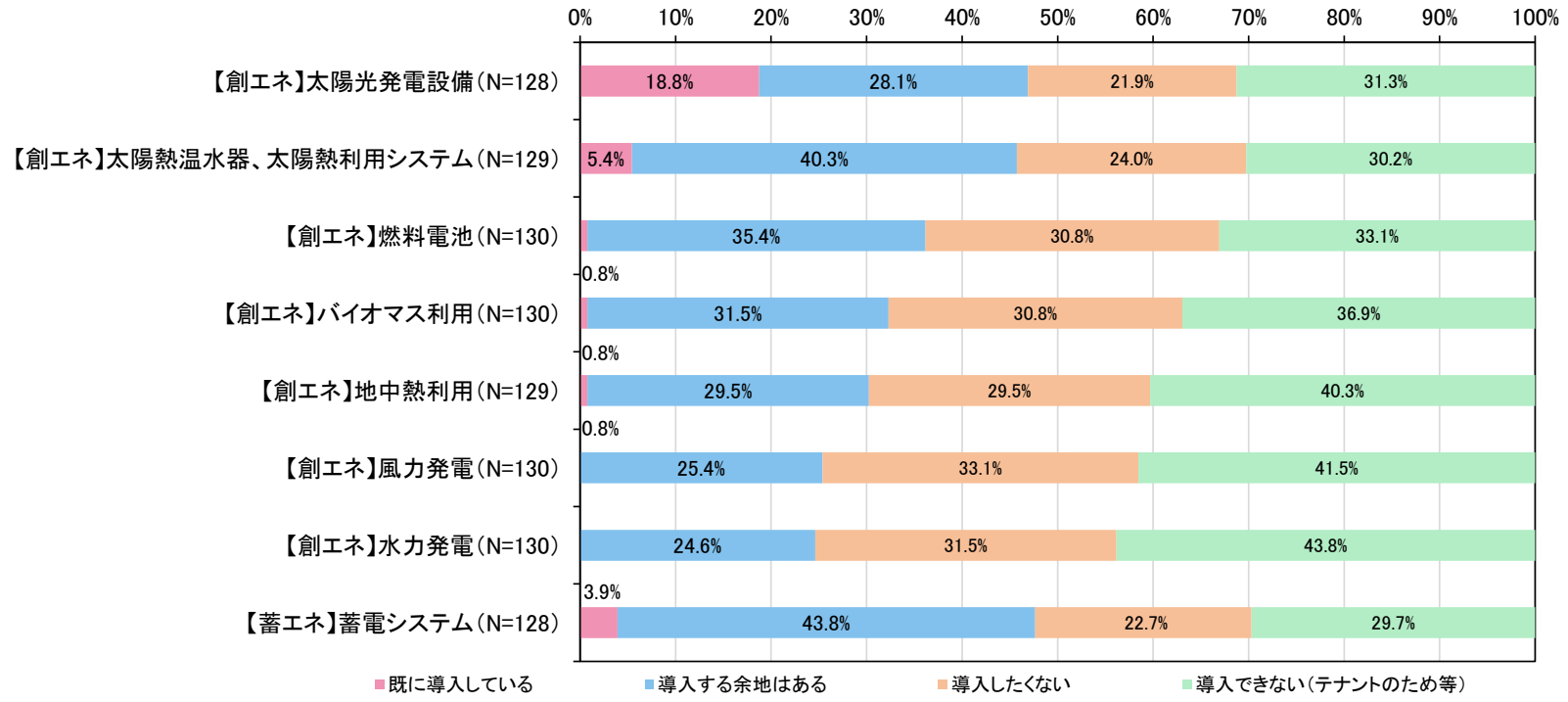
【問5】地球温暖化防止のための取組をどの程度行っていますか。



- 「ほぼ取り組んでいる」と回答した事業者の割合が最も高い取組は、「【空調】冷房、暖房は必要な時だけつけている」の82.3%であり、次いで「【空調】冷房は冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で設定温度を上げている」78.5%である。
- 一方、「あまり取り組んでおらず、今後も取り組まない」と回答した事業者の割合が最も高い取組は、「【自動車】ノーマイカー運動を励行している」の51.5%であり、次いで「【その他】事業所から排出している温室効果ガス排出量を算定している」の36.9%である。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

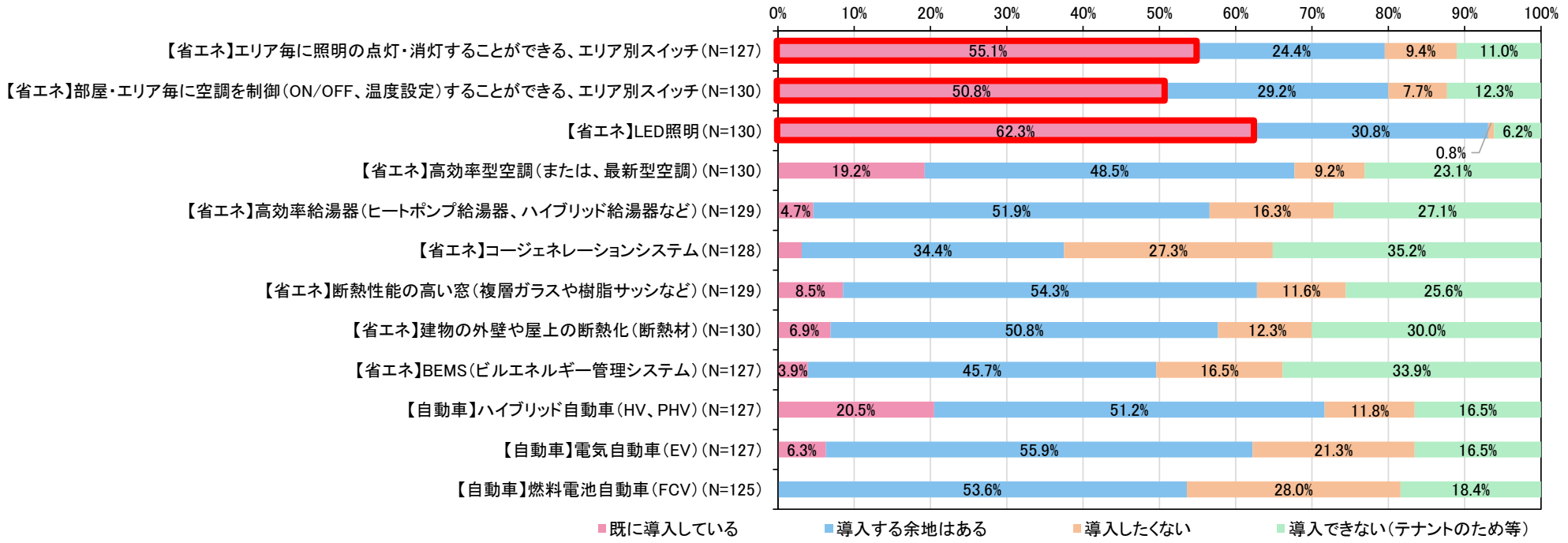
【問6】地球温暖化防止につながる設備の「現在の導入状況（予定）」（1/2）



- 「既に導入している」と回答した事業者の割合が最も高い項目は、「【省エネ】LED照明」の62.3%であり、次いで「【省エネ】エリア毎に照明の点灯・消灯することができる、エリア別スイッチ」の55.1%、「【省エネ】部屋・エリア毎に空調を制御（ON/OFF、温度設定）することができる、エリア別スイッチ」の50.8%である。
- 「導入できない」と回答した事業者を除くと、全体的に「導入する余地はある」と回答した事業者の割合が多い。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

【問6】地球温暖化防止につながる設備の「現在の導入状況（予定）」（2/2）

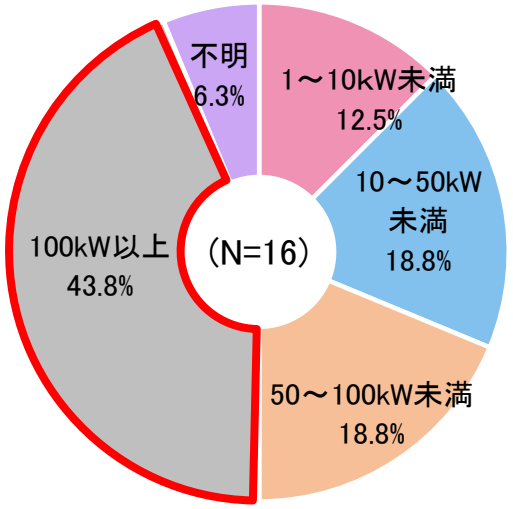


- 「既に導入している」と回答した事業者の割合が最も高い項目は、「【省エネ】LED照明」の62.3%であり、次いで「【省エネ】エリア毎に照明の点灯・消灯することができる、エリア別スイッチ」の55.1%、「【省エネ】部屋・エリア毎に空調を制御（ON/OFF、温度設定）することができる、エリア別スイッチ」の50.8%である。
- 「導入できない」と回答した事業者を除くと、全体的に「導入する余地はある」と回答した事業者の割合が多い。

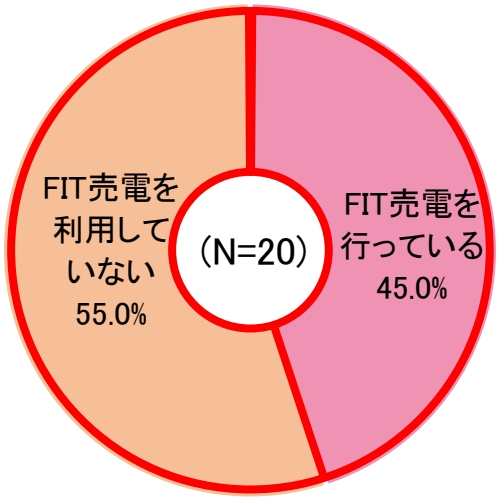
2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

【問7】問6で“太陽光発電設備”を『既に導入している』と回答した事業所にお聞きします。
現在の太陽光発電の設備及び売電状況

【発電能力】



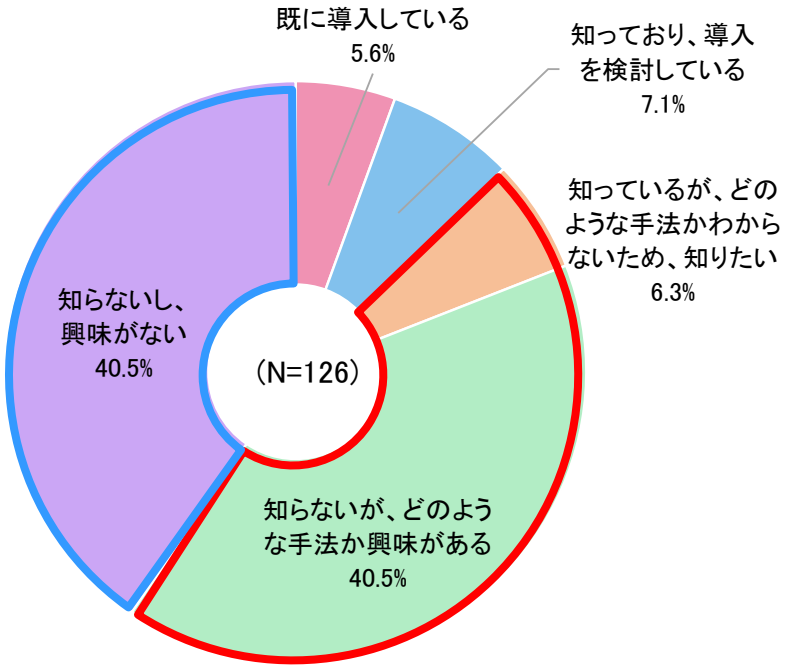
【売電状況】



- 設備の発電能力は、100kW以上が最も高く43.8%である。
- 売電状況について、FIT売電を行っている事業者とFIT売電を利用していない事業者の割合が、ほぼ同程度である。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

【問8】太陽光発電設備を初期投資の負担がなく設置できる手法としてPPAモデルやリースモデルがあることをご存知ですか。



- PPAモデルやリースモデルに興味を持っている事業者は約5割を占めている。
- 一方、PPAモデルやリースモデルに興味がない事業者は約4割を占めている。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

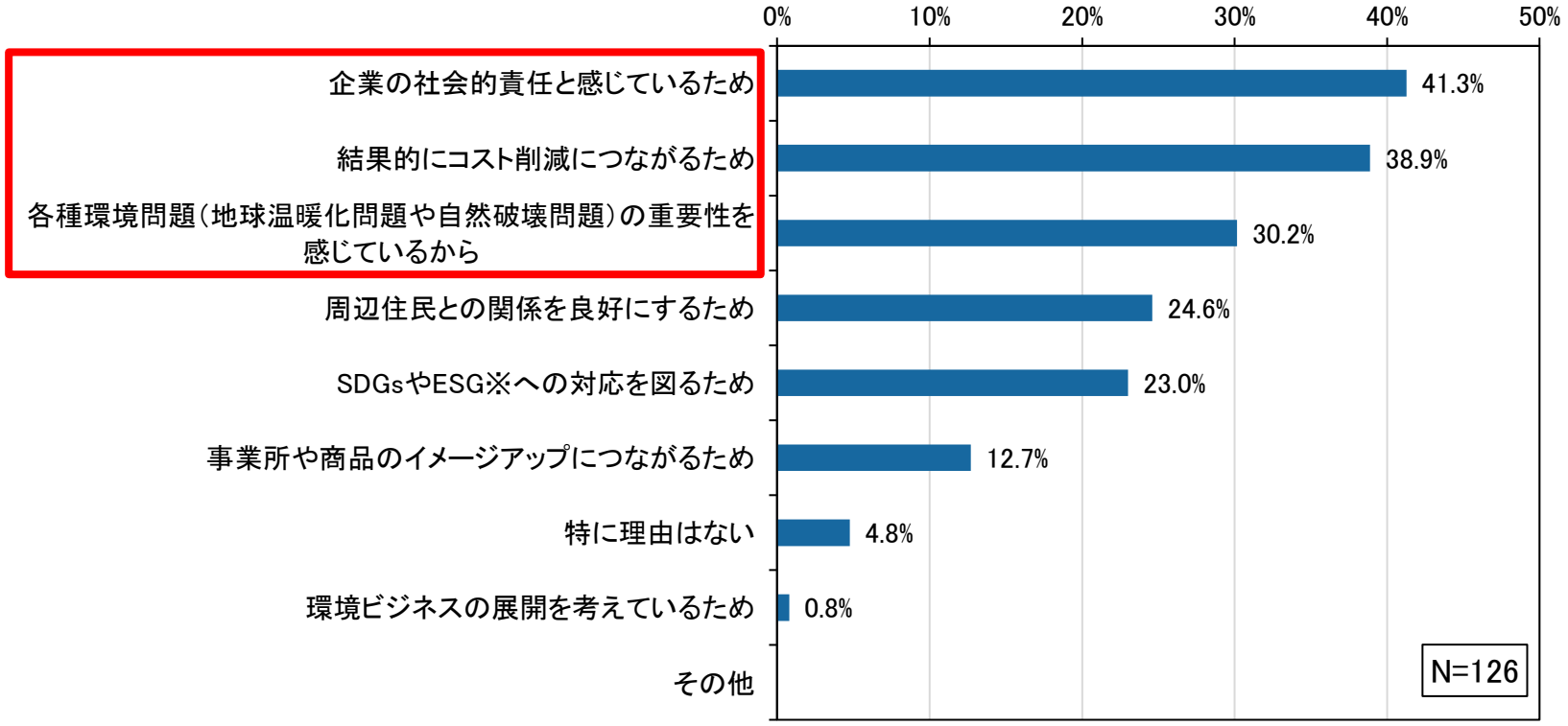
【問9】貴事業所で実施されている環境保全に関する取組があればご記入ください。

1	ゴミの分別、節電
2	周辺でできる畑や花だん等の整備
3	全てにおいてエコを心掛けている。
4	LED化を進めている。節電の努力をしている。
5	再利用可能なものは利用しています
6	どぶさらい、周辺の草刈り
7	クールビズ
8	ゴミの分別、ペーパーレス化は法人で取り組み
9	ごみの分別、ペットボトルなどリサイクル
10	他事業所にて、リサイクル事業を行っているため当事業所も進めている
11	特に意識して行っていません
12	全施設のLED照明への移行を順次おこなっている。
13	ペットボトルの蓋の回収、定休日を設ける
14	CO2フリー電力を採用している
15	オフィス内の電気・水使用状況、事務用紙削減の管理。オフィスおよび各現場に設置されている照明をLED照明に取替。マイルドハイブリッド車の購入を検討。等
16	既回答済の取組以外には、地域美化活動への積極的な参加
17	事業所周辺の清掃活動
18	できるだけ社用車のハイブリッド車の起用やペーパーレスに取り組んでいる。
19	電灯LED化、ペーパーレス化、高効率機器への更新、非化石燃料の使用

- 日々実践することができる以下に示す取組を行っている事業者が多い。
  資源循環に関する取組（ゴミの分別、リサイクル、ペーパーレス化）
  地球温暖化対策に関する取組（省エネ化や次世代自動車の導入）
  地域美化活動

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

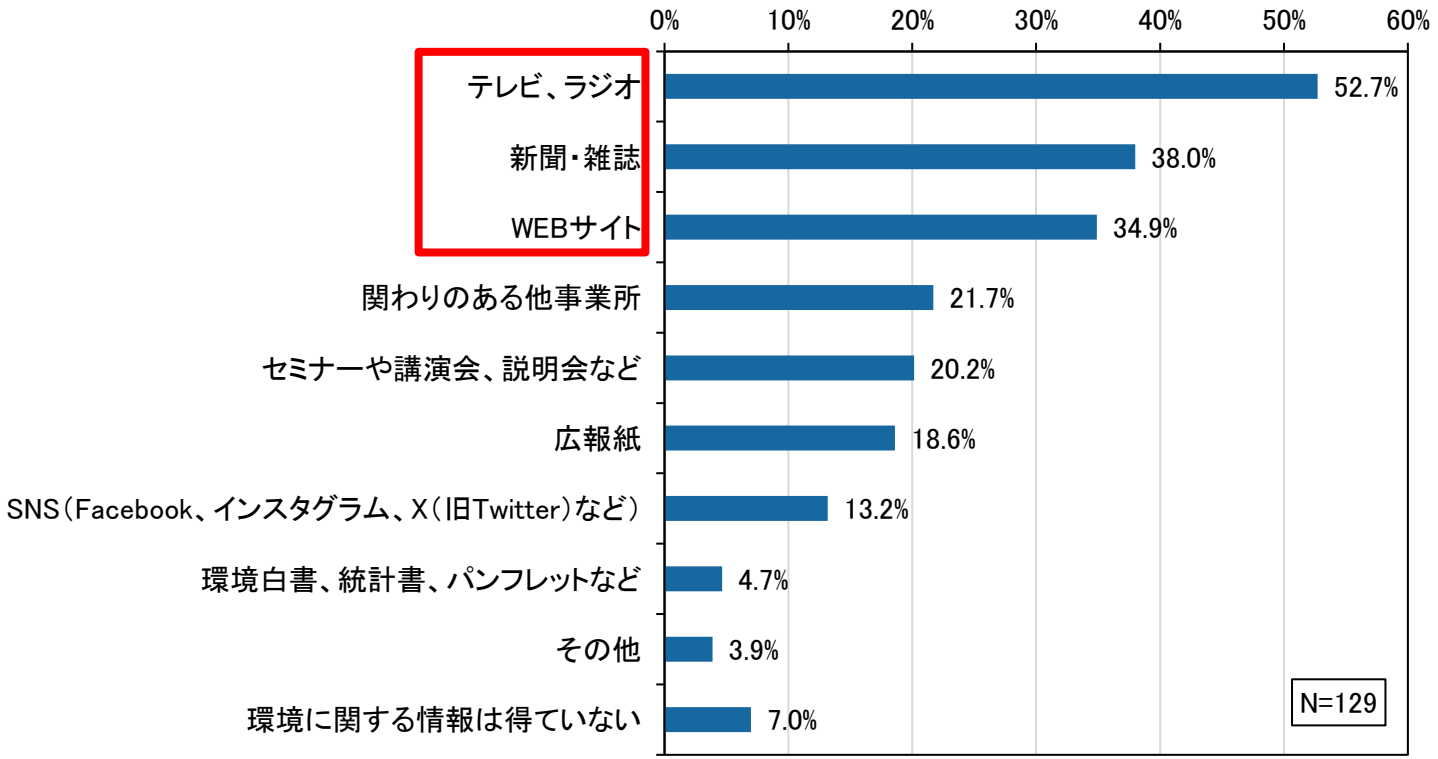
【問10】環境保全活動に取り組む場合、その主な理由は何ですか。



- 環境保全活動に取り組む理由は、「企業の社会的責任と感じているため」と回答した事業者の割合が41.3%最も高く、次いで「結果的にコスト削減につながるため」の38.9%、「各種環境問題（地球温暖化問題や自然破壊問題）の重要性を感じているから」の30.2%であった。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

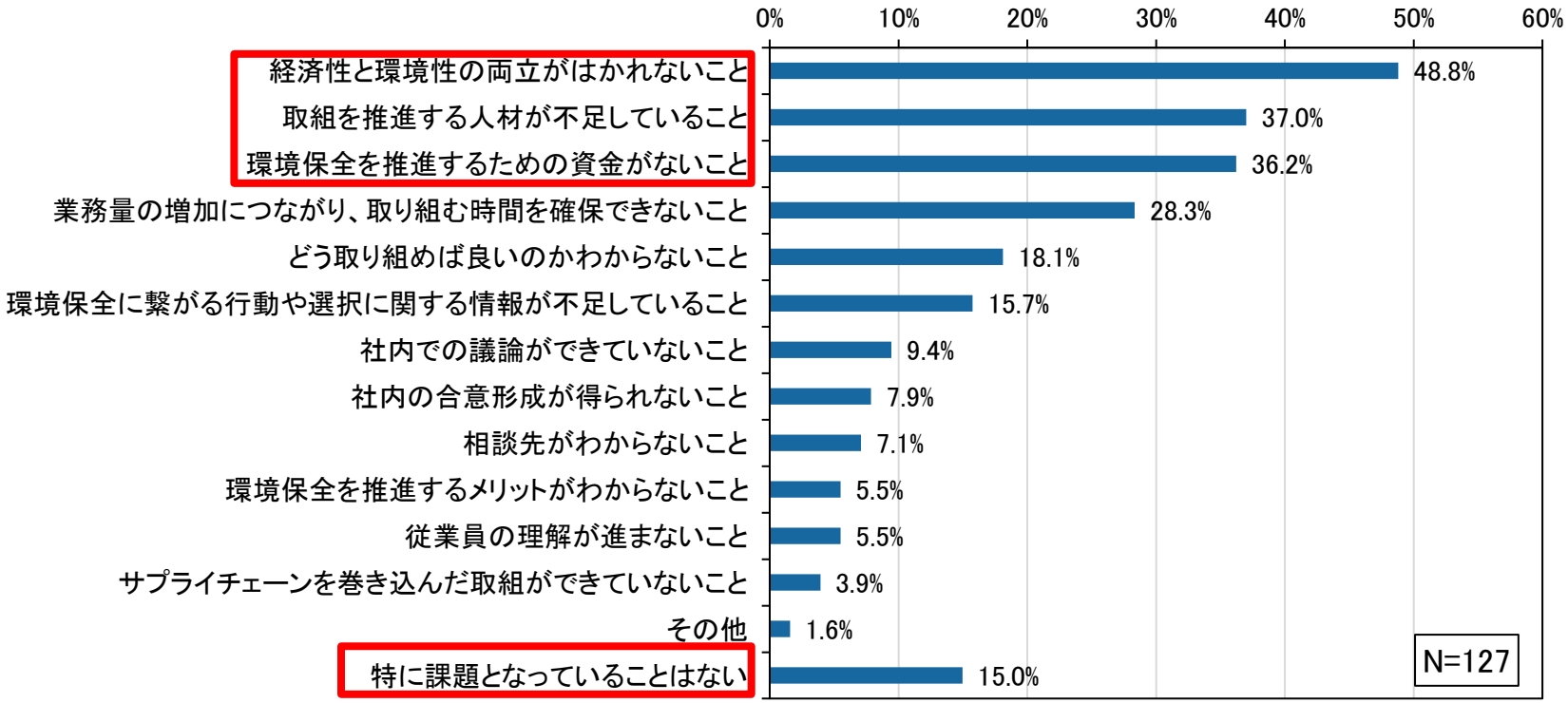
【問11】環境に関する情報をどこから得ていますか。



- 「テレビ・ラジオ」と回答した事業者の割合が52.7%と最も高く、次いで「新聞・雑誌」の38.0%、「WEBサイト」の34.9%である。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

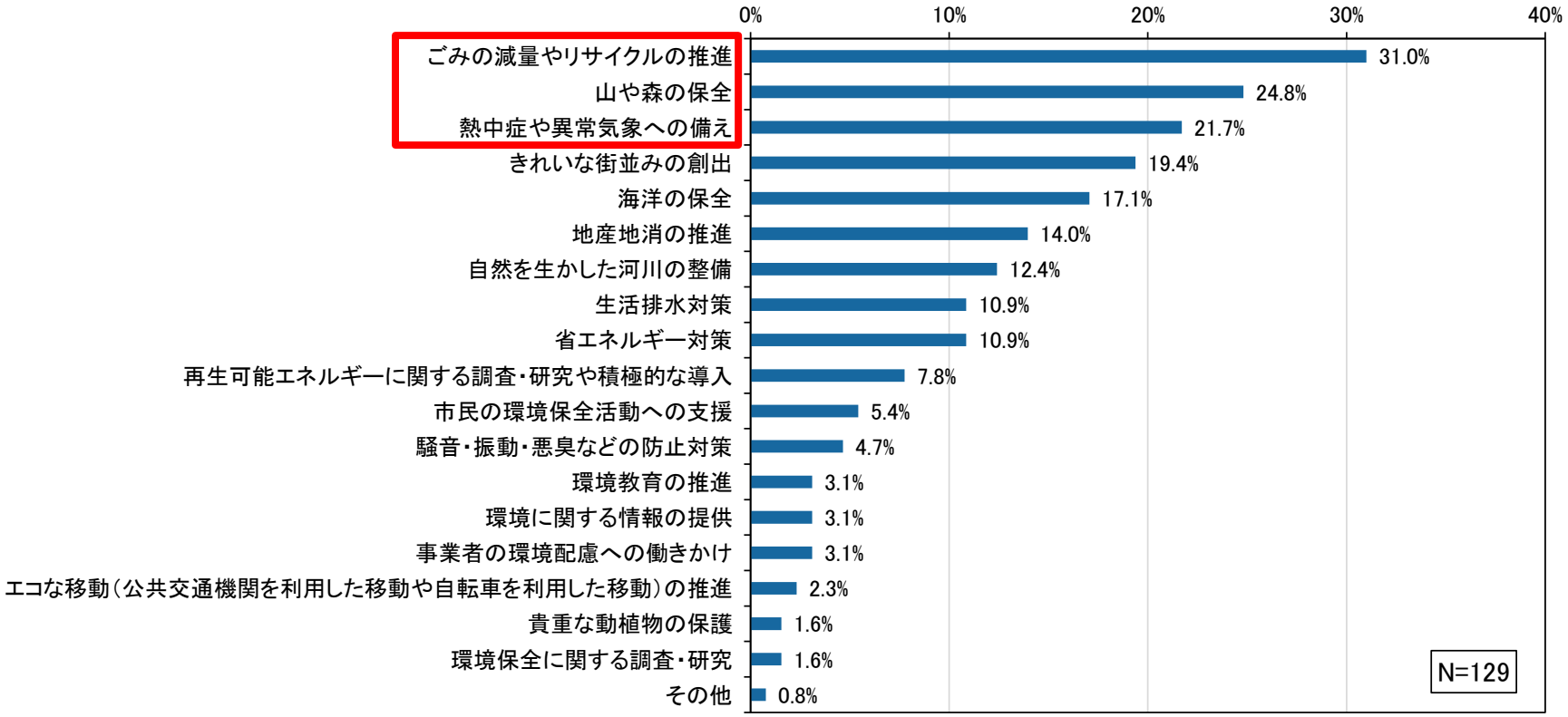
【問12】環境保全を推進する上で課題となっていることは何ですか。



- 「経済性と環境性の両立がはかれないこと」と回答した事業者の割合が48.8%と最も高く、次いで「取組を推進する人材が不足していること」の37.0%、「環境保全を推進するため資金がないこと」の36.2%である。
- 一方、「特に課題となっていることはない」と回答した事業者の割合が15.0%と比較的高い傾向が見られる。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

【問13】環境の保全を推進していくために、必要となる施策



- 「ごみの減量やリサイクルの推進」と回答した事業者の割合が31.0%と最も高く、次いで「山や森の保全」の24.8%、「熱中症や異常気象の備え」の21.7%である。
- 重要だと思う施策は、市民同様の結果となった。

2. 事業者アンケート調査の取りまとめ

【問14】柳井市の環境や地球環境に関して、ご意見、ご要望等がありましたら、ご記入ください。

- 「道路・草木の管理」に関する意見・要望が最も多く、次いで「行政のリーダーシップ」に関する意見・要望が多かった。

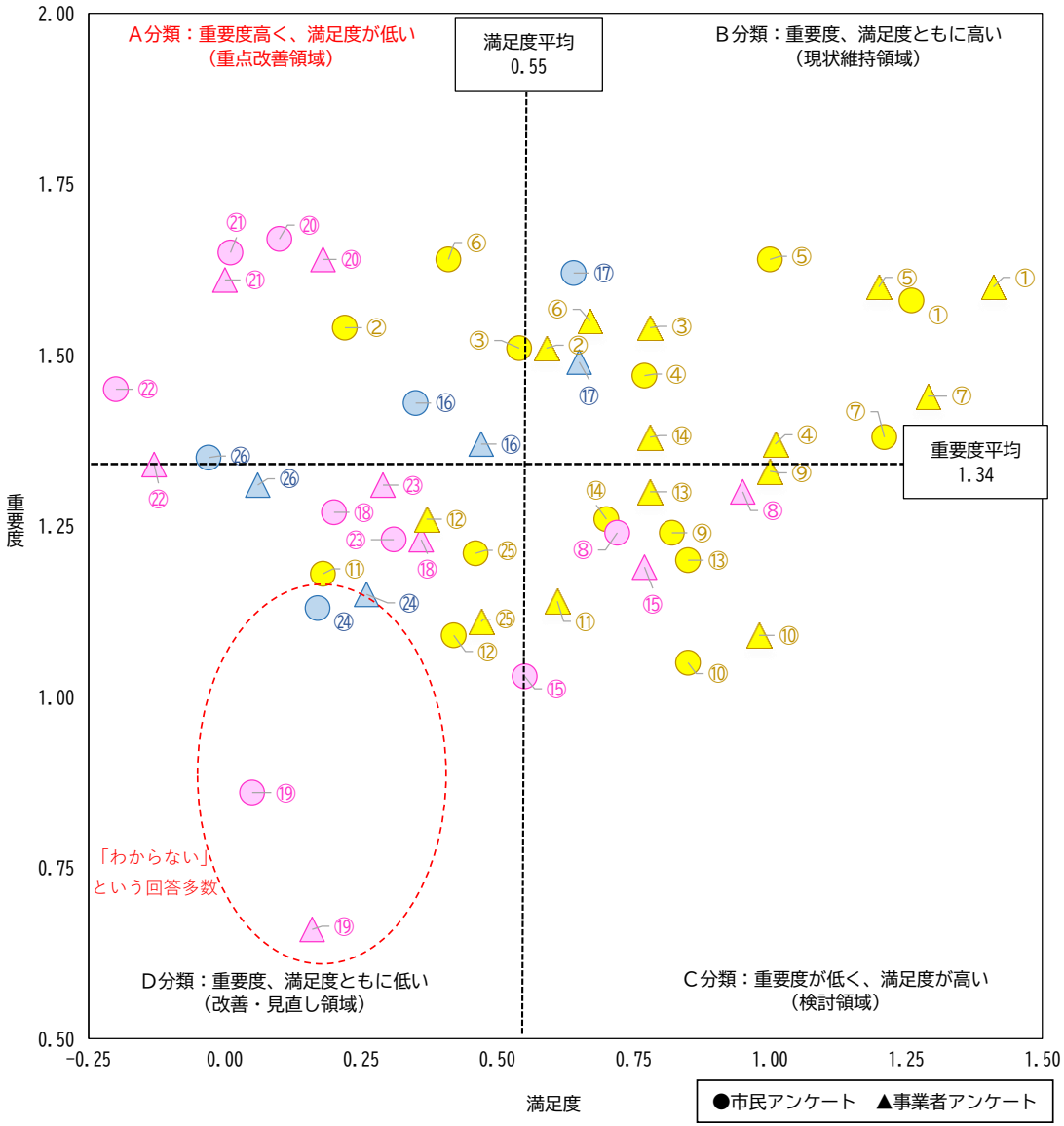
3. 柳井市の環境に対する満足度・重要度

アンケート調査から得られた全26の環境項目に対する満足度・重要度について、設問項目ごとに、選択肢に点数を付け、回答数と点数から加重平均を求め、散布図として整理。

【整理結果】

- 市民・事業者ともに、「ごみの減量化やリサイクルの状況」・「大雨・洪水に対する備え」・「土砂災害に対する備え」が“重点改善領域（重要度が高く、満足度が低い項目）”となっており、資源循環や気候変動対策（適応策）に関するニーズが高くなっている。
- 市民は、水源のきれいさやまちの清潔さといった生活環境項目や環境に対するモラル・配慮に関するニーズも高くなっている。
- 事業者は、市民と比較して、全体的に“現状維持領域（重要度、満足度ともに高い項目）”が多くなっている。
- 市民・事業者ともに「太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入」の満足度・重要度が極端に低くなっているが、これは「わからない」の回答が多かったためである。なお、「環境教育・環境学習に関する取組」についても、同様の傾向が見られる。そのため、再エネや環境教育の重要性を改めて伝えていく必要がある。
- 地球温暖化に関する関心は高いものの、気候変動対策（緩和）は“改善・見直し領域（重要度、満足度ともに低い）”となっているため、施策の進め方を改めて検討する必要がある。

3. 柳井市の環境に対する満足度・重要度



項目	市民	事業者
①空気のきれいさ	B	B
②川や池沼の水のきれいさ	A	B
③海のきれいさ	A	B
④家の周りの静かさ（騒音・振動の少なさ）	B	B
⑤嫌なにおいなどの悪臭の少なさ	B	B
⑥まちの清潔さ（ごみのポイ捨てなどの無さ）	A	B
⑦山や森などの緑の豊かさ	B	B
⑧農地としての緑の豊かさ	C	C
⑨鳥や魚、植物などの身近な生物の豊かさ	C	C
⑩自然とのふれあいの機会の多さ	C	C
⑪野生鳥獣の生息域と生活圏のバランス	D	C
⑫公園や街路の花や緑	D	D
⑬森や山の景観の美しさ	C	C
⑭海や川の景観の美しさ	C	B
⑮田園風景の美しさ	C	C
⑯ごみの減量化やリサイクルの状況	A	A
⑰ごみの分別や出し方のマナー	B	B
⑱省エネルギーへの取組	D	D
⑲太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入	D	D
⑳大雨・洪水に対する備え	A	A
㉑土砂災害に対する備え	A	A
㉒猛暑に対する備え	A	D
㉓地産地消（地場農産物の消費）の状況	D	D
㉔環境教育・環境学習に関する取組	D	D
㉕ゆとり、やすらぎ	D	D
㉖市民ひとり一人の環境に対するモラル、環境への配慮	A	D

点数	満足度の選択肢	重要度の選択肢
+2	満足	重要
+1	やや満足	どちらかというと重要
0	わからない	
-1	やや不満	どちらかというと重要でない
-2	不満	重要でない